SUPER Famicom
LICENSED BY NINTENDO

FIA FORMULA 1 WORLD CHAMPIONSHIP
foca フジテレビ OFFICIAL

スーパーファミコン®

F1 GRAND PRIX

取扱説明書

VIDEO SYSTEM

SHVC-FG

このたびは、ビデオシステムのスーパーファミコン専用ソフト「F-1 Grand Prix」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ゲームを始める前に、この「取扱説明書」をお読みいただいて、取扱いかたや使用上の注意を理解して、正しくご使用ください。なお、この「取扱説明書」は大切に保管してください。

Formula1 World Championship

in Super Famicom

「世界最速」の勲章をめざして走る男たちの闘いに、
今、君はチャレンジしようとしている!
高鳴る鼓動だけがヘルメットの中に響き
時間は止まったかのようだが、
シグナルは、もうすぐ青に変わろうとしているのだ。
さあ、F-1 Grand Prixのアクセルを踏もう!

操作方法(コントローラ各部の名称と操作)

このゲームは1人用です。コントローラは、スーパーファミコン本



Ⓛボタン シフトダウン。

十字ボタン
ステアリング（ハンドル）の操作を左右で行います。また、モード・アイテム選択も行います。

セレクトボタン
モード・アイテム選択。

スタートボタン
モード・アイテム決定。
ポーズ（一時中断）。

体のコントローラコネクタに差しこんでください。

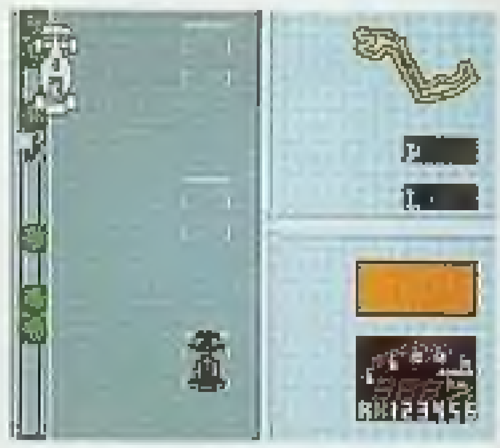


ゲームの選びかた

F-1 Grand Prixには、「FREE RUN」と「WORLD GP」の

FREE RUN
(フリーラン)

「SINGLE」、「PRACTICE」、「BATTLE」の3つの中から、好きなモードを選びます。



■SINGLE
(シングル)

タイムアタックです。F-1 GPレースの合間に行われるテストと同じで、1台で走ります。

16コースから1コースを選び、ピットスタート。まずコースを1周したあとで、タイムアタックが始まります。
各コースの最高タイムをめざそう。



■PRACTICE
(プラクティス)

タイムアタックです。F-1 GPレースの予選と同じです。

16コースから1コースを選び、予選と同じ状態で、他の車と同時にタイムアタックします。 マシンセッティングやドライビングテクニックを試してみよう。



■BATTLE
(バトル)

君ともう1台の、2台だけで走る闘いです。

対戦チームとドライバーを選び、君と1対1でタイムアタックします。
シグナルでスタート/自分のレベルを確認しよう。

2種類の遊びかたがあります。

WORLD GP
(ワールドグランプリ)





全18チームのどれかに所属（選択）し、そこのドライバーになって、全16ラウンドを戦います。

■予選(ピットスタート)、グリッド決定、決勝レースと、実際のF-1 GPと同じスケジュールで、決勝のグリッドをめざしてください。

■予選、決勝どちらも、マシンのセッティングができます。 (14ページ参照)

OPTION
(オプション)



ゲーム難易度(EASY、NORMAL、HARD) の変更やサウンドセレクトがあります。また、ドライバーの他チームへのトレードも可能です。(22ページ参照)

BEST LAP
(ベストラップ)



コースごとのベストラップを表示します。
(24ページ参照)

ゲームの遊びかた

ここでは、ドライビングテクニック、マシンセッティングなどを完璧にマスターします。

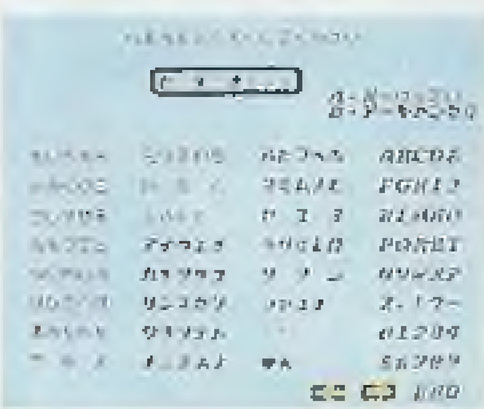
FREE RUN



①十字ボタンで「FREE RUN」に合わせ、Ⓑ(またはⓎ)ボタンで決定します。



②「SINGLE」「PRACTICE」「BATTLE」の3つのモードから1つ選び、Ⓑ(またはⓎ)ボタンで決定します。



③君の名前を入力します。十字ボタンで文字を選び、Ⓑ(またはⓎ)ボタンで決定、Ⓐ(またはⓍ)ボタンでキャンセル。



④コースを選びます。好きなコースへ十字ボタンで移動し、Ⓑ(またはⓎ)ボタンで決定します。



⑤チームを選びます。全18チームの中から1チームを選び、Ⓑ(またはⓎ)ボタンで決定します。



⑥ドライバーを選びます。



⑦ラップ(周回)数を選択します。



⑧マシンのセッティングです。ウイング、ステアリング、ミッション、ギア、タイア、ブレーキ、サスペンションなど、細かくセッティングしてください。
十字ボタンで設定を選び、Ⓑ(またはⓎ)ボタンで各パーツを決定します。(14ページ参照)



⑨セッティング終了。セッティング画面にもどり、□EXITに合わせて、Ⓑ(またはⓎ)ボタンを押して完了です。
さあ、FREE RUNだ!

TEAM·DRIVER & ENGINE チーム

チーム	ドライバー	エンジン
マクラーレン	アイルトン・セナ ゲルハルト・ベルガー	ホンダ V12 RA121E
ティレル	中嶋 悟 ステファノ・モデナ	ホンダ V10 RA101E
ウィリアムズ	ナイジェル・マンセル リカルド・パトレーゼ	ルノー V10 RS3
ブラバム	マーティン・ブランドル マーク・ブランデル	ヤマハ V12 OX99
フットワーク	ミケーレ・アルボレート アレックス・カフィ	ポルシェ V12 3512
ロータス	ミカ・ハッキネン ジョニー・ハーバート	ジャッド V8 EV
フォンドメタル	オリビエ・グルイヤール	コスワース V8 DFR
レイトンハウス	マウリシオ・グージェルミン イヴァン・カペリ	イルモア V10 LH10
エージーエス	ガブリエーレ・タルクィーニ ファブリツィオ・バルバッツァ	コスワース V8 DFR

●チーム、ドライバーは91年シーズン開幕時のものです。

ドライバー&エンジン

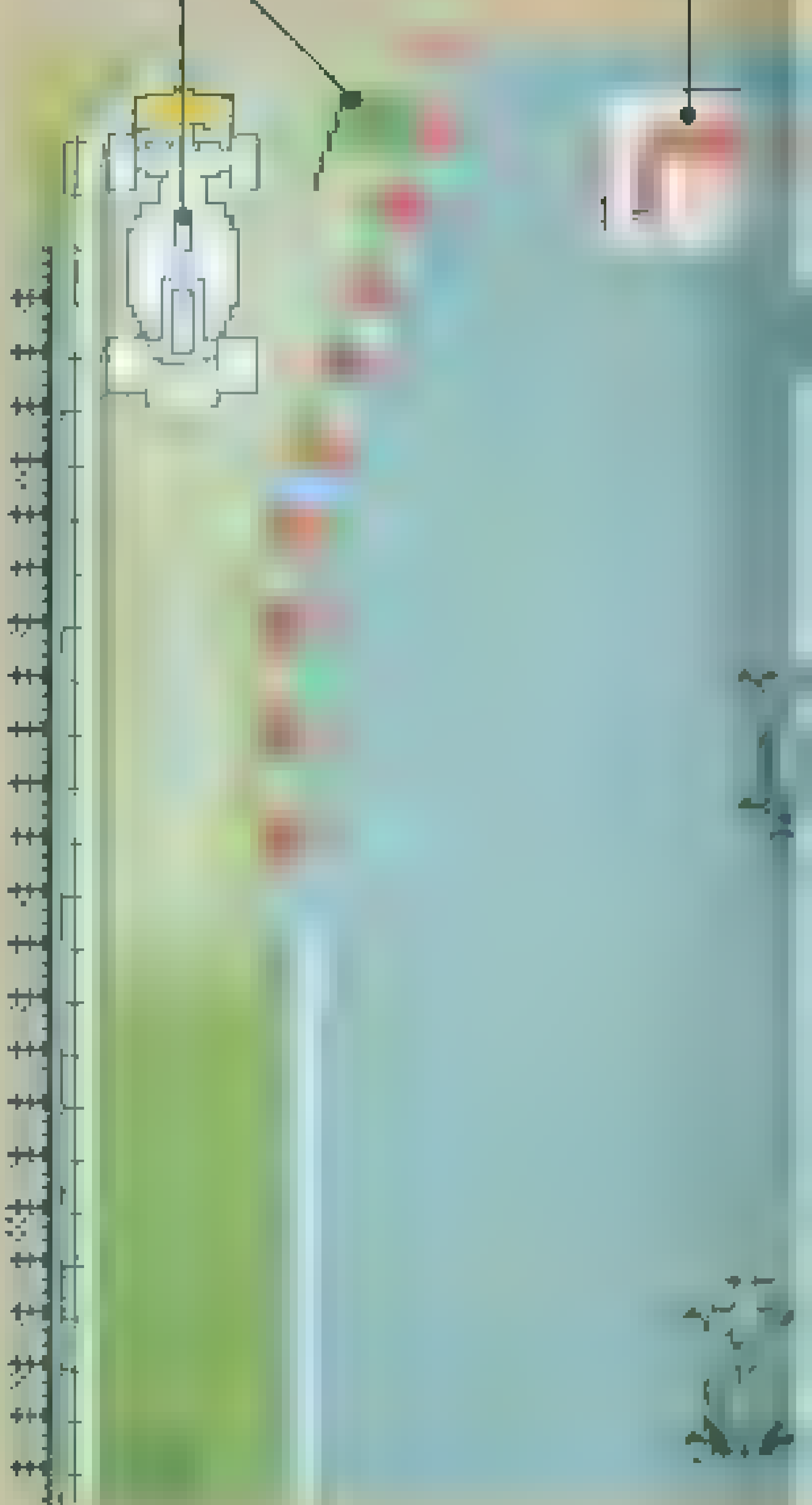
チーム	ドライバー	エンジン
ベネトン		
ダラーラ スクーデリア・イタリア		
ミナルディ	ジャンニ・モルビデリ	
リジェ		
フェラーリ		
ラルース		
コローニ		
ジョーダン		
モデナ		

MONITOR 画面説明

● タメージインジケーター
[illegible]摩耗・グリップ力を表[illegible]ウィングの損傷によるダウン[illegible]示。

● コーナーサイン
コース前方のコーナーを指示。

● フラッグ
レース中のアクシデントなどのシグナル。



イエローフラッグ
コース前方でアクシデント発生。

グリーンフラッグ
先に出されたサインが解除されコースがクリアー。

レッドフラッグ
大きなアクシデント、急なレースコンディションの悪化によるレース、プラクティスの中断。

ブルーフラッグ
追い越しシグナル。後方からスピードの速いマシンが接近中。

ホワイトフラッグ
コース前方に周回遅れの車など除行中の介入車あり。

チェッカーフラッグ
決勝のファイナルラップに突入。

ゆるいコーナー	Rの大きなコーナー。
直角コーナー	市街地コースなどで、90°に曲ったコーナーや、急なカーブ。
急コーナー	ヘアピンやS字コーナーなど、Rの小さなコーナー。
シケイン	シケイン、減速のためのクランク状障害)。



●コースポジション
プレイヤーのコース上の位置を表示。

●ポジション
プレイヤーの現在の順位を表示。

●ラップ表示
現在の周回数を表示。

●LCD(液晶パネル)
タイヤ交換や修理などのピットサインやメッセージをデジタル表示。

●タコメーター
エンジンの回転数をデジタル表示。レッドゾーンはオーバーレヴ。

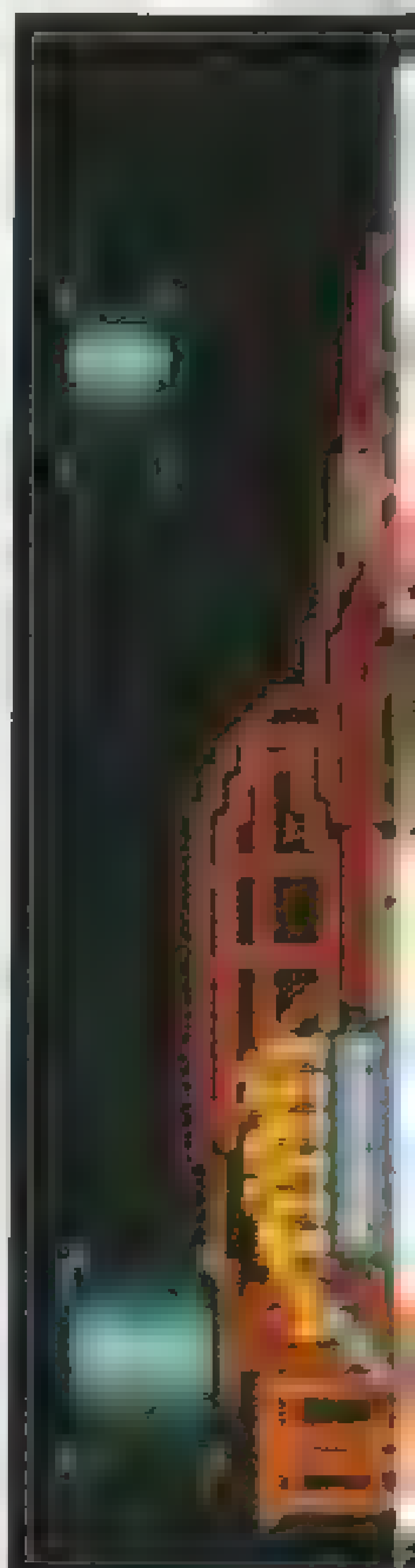
●スピードメーター

●シフトポジション
シフトが何速に入っているかを表示。

MACHINE SETTING マシン・セッテ

1. 十字ボタンでセッティングパーツ(箇所)を選び、Ⓑ(またはⓎ)ボタンで決定します。
2. 次に、十字ボタンの左右でセッティング・アイテム(項目)を選び、Ⓑ(またはⓎ)ボタンで決定します。





MISSION(2種類)

AUTO (オート)
アクセルとブレーキだけで操作します。(オートマティック仕様)

SEMIAUTO (セミオート)
アクセル、ブレーキ、そして変速を加えて操作します。(セミオートマティック仕様)

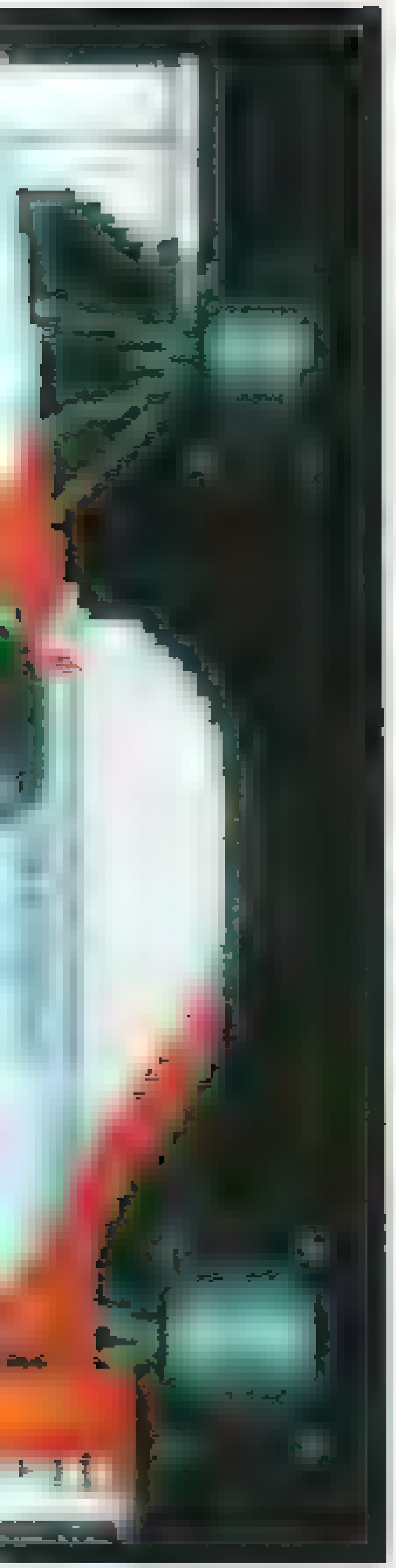


GEAR(3種類)

LOW (ロー)
テクニカルサーキットでの、加速重視のセッティング。加速は良くなりますが、最高速が伸びません。

NORMAL (ノーマル)
ノーマルなセッティング。

HIGH (ハイ)
高速サーキットでの、高速重視のセッティング。最高速は伸びますが、加速が悪くなります。





WING（3種類）

30°：高速サーキットでの、最高速重視のセッティング。直線は伸びますが、コーナリングが厳しくなります。

45°：ノーマルなセッティング。

60°：テクニカルサーキットでの、コーナリング重視のセッティング。コーナリングは楽ですが、直線での伸びが落ちます。



BREAK（2種類）

HEAVY（ヘビー）：ブレーキの効きは良いが、耐久性に劣ります。多用すると、効きが悪くなります。

NORMAL（ノーマル）：ノーマルなセッティング。



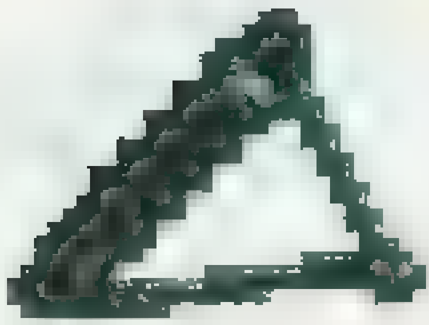
STEERING（3種類）

LIGHT（ライト）：ステアリングのされるスピードが速くなります。

NORMAL（ノーマル）：ノーマルなセッティング。

HEAVY（ヘビー）：ステアリングのされるスピードが遅くなります。

SUSPENSION（3種類）

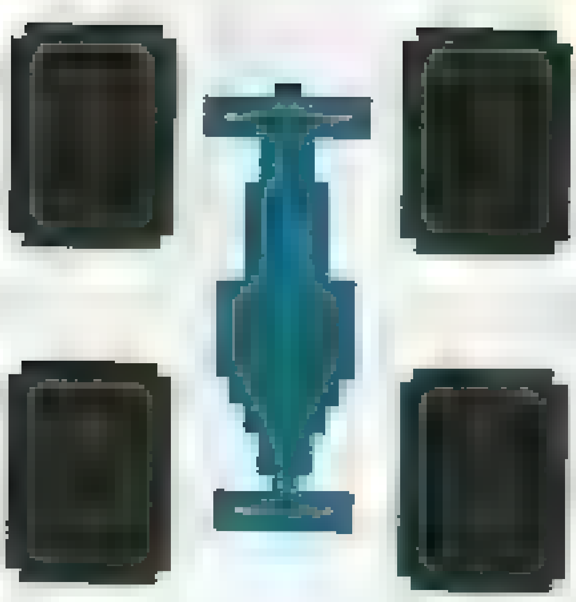


SOFT（ソフト）　コーナリングでの追従性は良くなりますが、ロールしやすく、空力に劣ります。タイヤの磨耗は少なくなります。

NORMAL（ノーマル）　ノーマルなセッティング。

HARD（ハード）　コーナリングでの追従性は悪くなりますが、ロールしにくく、空力に優れています。タイヤの磨耗が多くなります。

TIRE（5種類）



Bタイヤ　本選用。堅めで、グリップ力はやや劣りますが、耐久性に優れています。

Cタイヤ　本選用。柔らかめでグリップ力はありますが、耐久性がやや劣ります。

Rタイヤ　本選用。雨天の時使用します。

Qタイヤ　予選用。グリップ力は抜群ですが、耐久性に劣ります。

RQタイヤ　雨天時の予選用。Rタイヤに比べグリップ力はありますが、耐久性に劣ります。

マシンセッティングは、コースや自分のドライビングテクニックを考えて行ってください。セッティングを間違えると、うまく実力を発揮できません。

WORLD GP（ワールド グランプリ）

今日から君もF－1パイロット！

FREE RUNできたえた君のテクニックとセッティングは、もう十分に通用するはずだ。これからは、世界をまたにかけて、戦いの連続が君を待っている。

さあ、出かけよう！

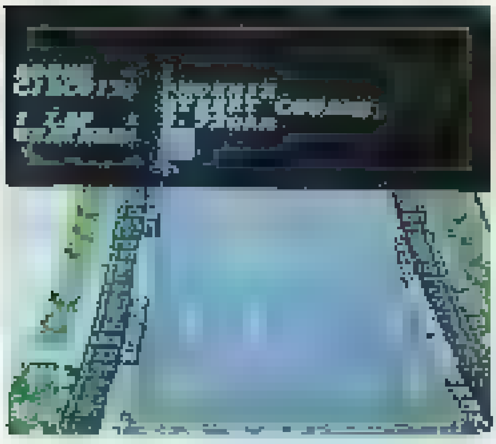
世界で最も速い男！の称号を手に入れるために！

16の華麗で苛酷な戦いの中へ！

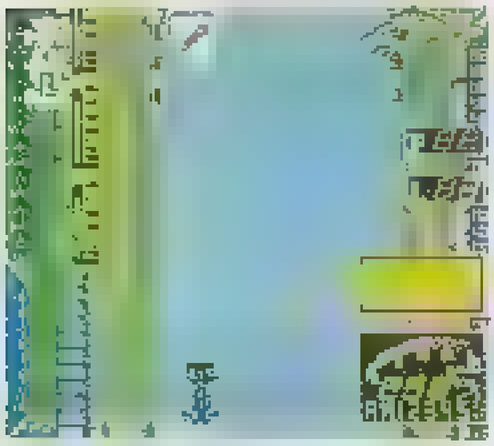


QUALIFYING 予選

上位26名に入るように!



①「FREE RUN」と同じく、チーム、ドライバーを選び、LAP数を決めます。
コース紹介画面になります。



②マシンのセッティングを行います。
コースに合ったセッティングをしてください。

③いよいよ予選スタート!
コースを1周したあと、タイムアタックです。

④予選タイムが表示されます。
上位26位に入らなければ予選落ち!もう1度セッティングからやり直してください。
予選を通過するまで、何度もチャレンジしよう。
予選を通過すれば、いよいよ、決勝が待っている!

■第1戦からプレイする場合

NEW GAMEを選び、Ⓑ(またはⓎ)ボタンを押すとNAME入力画面になります。

■セーブデータがある場合

CONTINUEを選びⒷ(またはⓎ)ボタンを押すと、セーブ画面になります。続けたいデータを選びⒷ(またはⓎ)ボタンで決定します。(21ページ参照)

FINAL 決勝

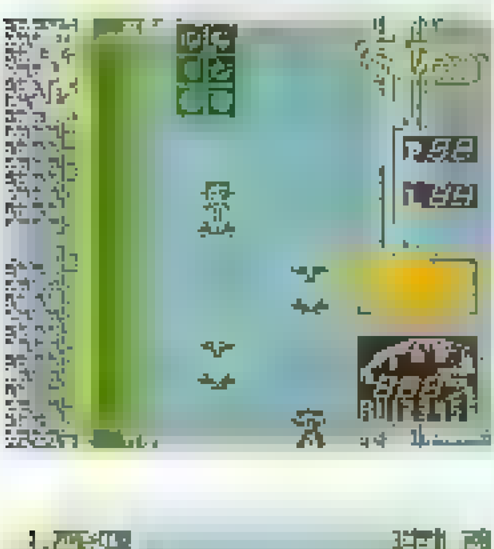
チェッカーをめざして!



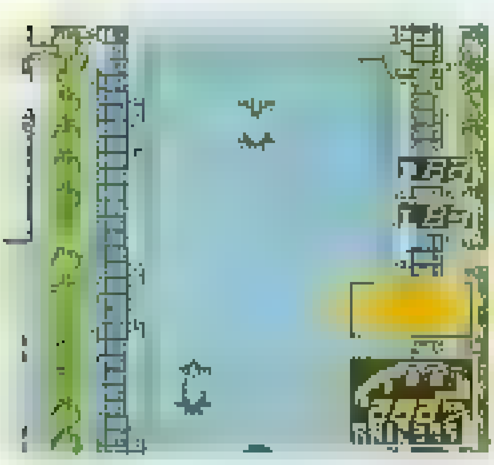
①決勝前に、もう1度、マシンセッティングを行います。



②スターティング・グリッドの紹介。そしていよいよ、決勝のスタートです。



③シグナルが青に変わったら、アクセルボタン(Ⓑボタン)を押してください。アクセルを吹かしたままではホイールスピンしてスタートが遅れます。

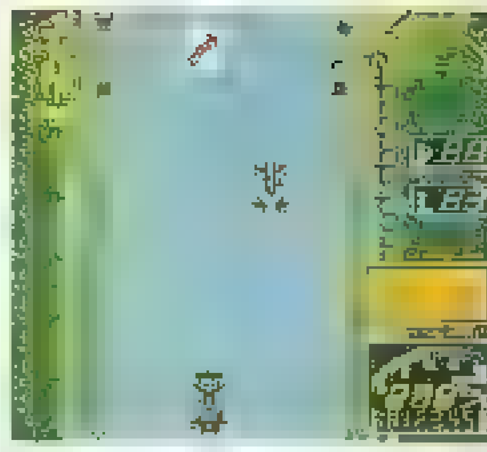


④レース中は、LCD(液晶パネル)や各種フラッグに注意して、その指示に従ってください(12・13ページ参照)。
車体消耗表示が画面左上に出るので、チェックしながら、走りましょう。

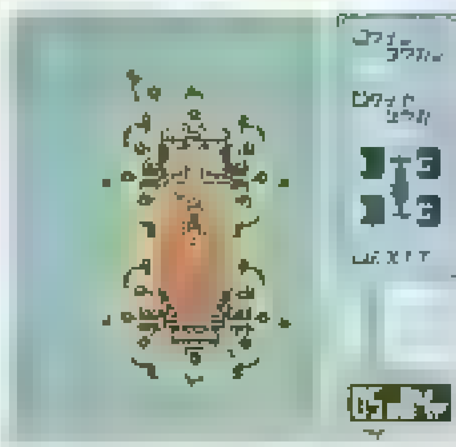
PIT IN ピットイン

ピットタイムもあなどれない

■ピットサインが出た場合、ピットインして車を直さなければなりませんが、タイミングが悪いと、ロスタイムが増えてしまいます。



■ピットでは、タイヤ交換とウィング交換があります。十字ボタンでどちらかを選び、Ⓑ(またはⓎ)ボタンで決定します。



RETIRE リタイア

もう走れない!

■壁や他の車に何度もぶつかっていると、車体は消耗、オーバーヒートしてリタイアになることがあります。

■また、タイムオーバーでリタイアすることもあります。



SAVE & CONTINUE セーブ、コンティニュー

WORLD GPでは、1戦ごとにセーブすることができます。ポイント表示画面のあと、セーブ画面で決定します。

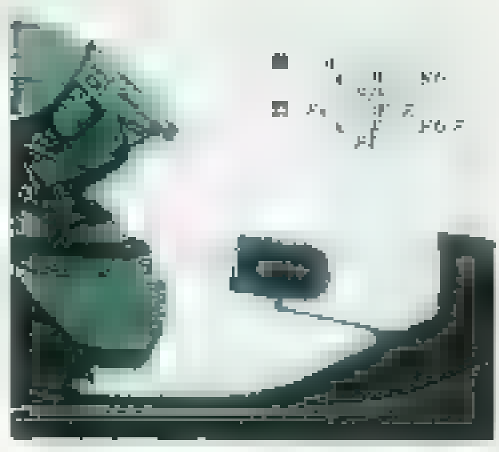
SAVE



□CONTINUE　その1戦をセーブして、次のコースに行くとき。

□END　その1戦をセーブして、ゲームを終わるとき。

NO SAVE



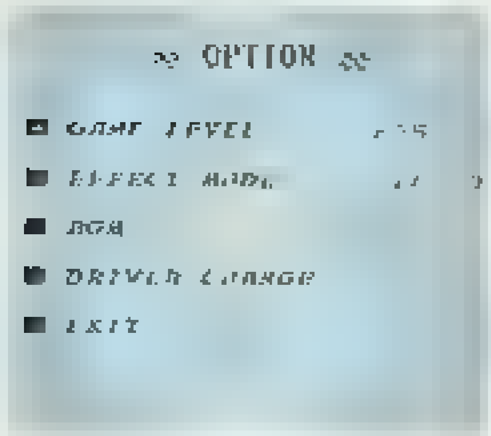
□CONTINUE　その1戦をセーブせずに、もう1度同じコースを走るとき。

□END　その1戦をセーブせずに、ゲームを終わるとき。

※セーブしたところからレースを再開するときは、「WORLD GP」モードのCONTINUEを選びます。セーブ画面からデータを選び、そこからスタートできます。

OPTION オプション

タイトル画面で、オプションモードを選びます。十字ボタンで、それぞれを選んで、Ⓑ(またはⓎ)ボタンで決定します。



GAME LEVEL ゲームレベル

EASY、NORMAL、HARDの3種類があり、順番に難しくなります。

EFFECT MODE エフェクト・モード

エンジン音など、効果音のステレオ・モノラルが選べます。

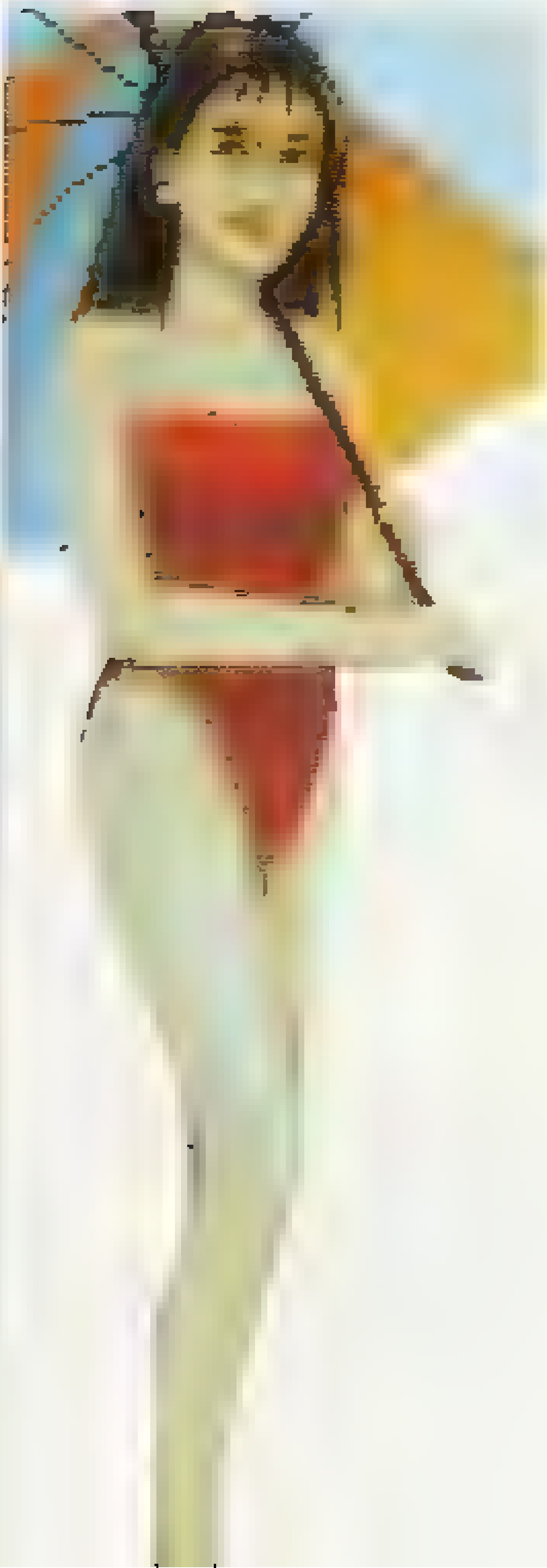
BGM

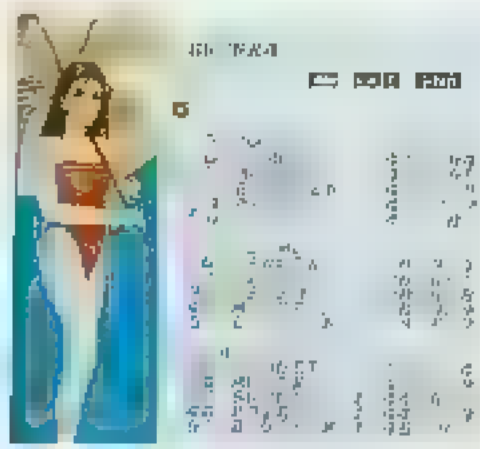
ゲーム中に使用されているすべての音やメロディをひとつずつ聞くことができます。
[illegible]で、好きなBGM(バックグラウンドミュージック)を選んでください。

BEST LAP ベストラップ

各コースごとのベストラップを知りたいときは?

■タイトル画面で、ベストラップモードを選びます。十字ボタンの上下左右でコースを選んで、Ⓑ(またはⓎ)ボタンで決定します。





■掲載されているデータは91年カナダGP終了時までのものです
■チーム、ドライバーは91年ポルトガルGP時のものです。

FASTEST BATTLE in the World

26台のマシンだけが覇を競う、世界最速の闘いに、
コンストラクターは、ベストチューニングマシンをオファーする。
ドライバーはもてるテクを出し切るべく、そのマシンを駆る。
メカニックたちはピットに身構える。
チームは、つねに極限の状態にある。
全18チーム34名のドライバーを紹介しよう。
君のフェバリットは、どこの、だれだ?



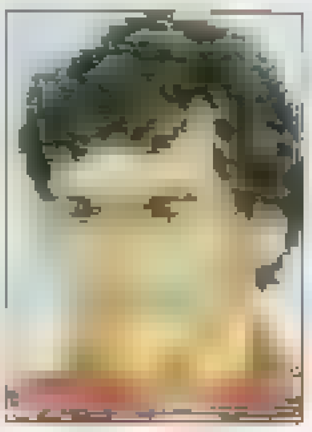
McLAREN マクラーレン

■本拠地　イギリス・ウォキング
■GPデビュー　66年モナコGP
■出走　35回
■優勝　90回
■PP　7回
■FL　62回
■90年ポイント　コンストラクターズチャンピオン・12ポイント
■代表者　ロン・デニス
■シャシー　マクラーレンMP4/6
■エンジン　ホンダV12 RA 2 E
■タイヤ　グッドイヤー



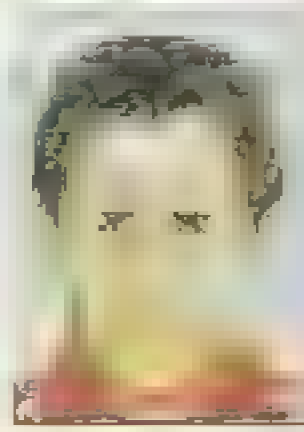
Ayrton SENNA
アイルトン・セナ(ブラジル)

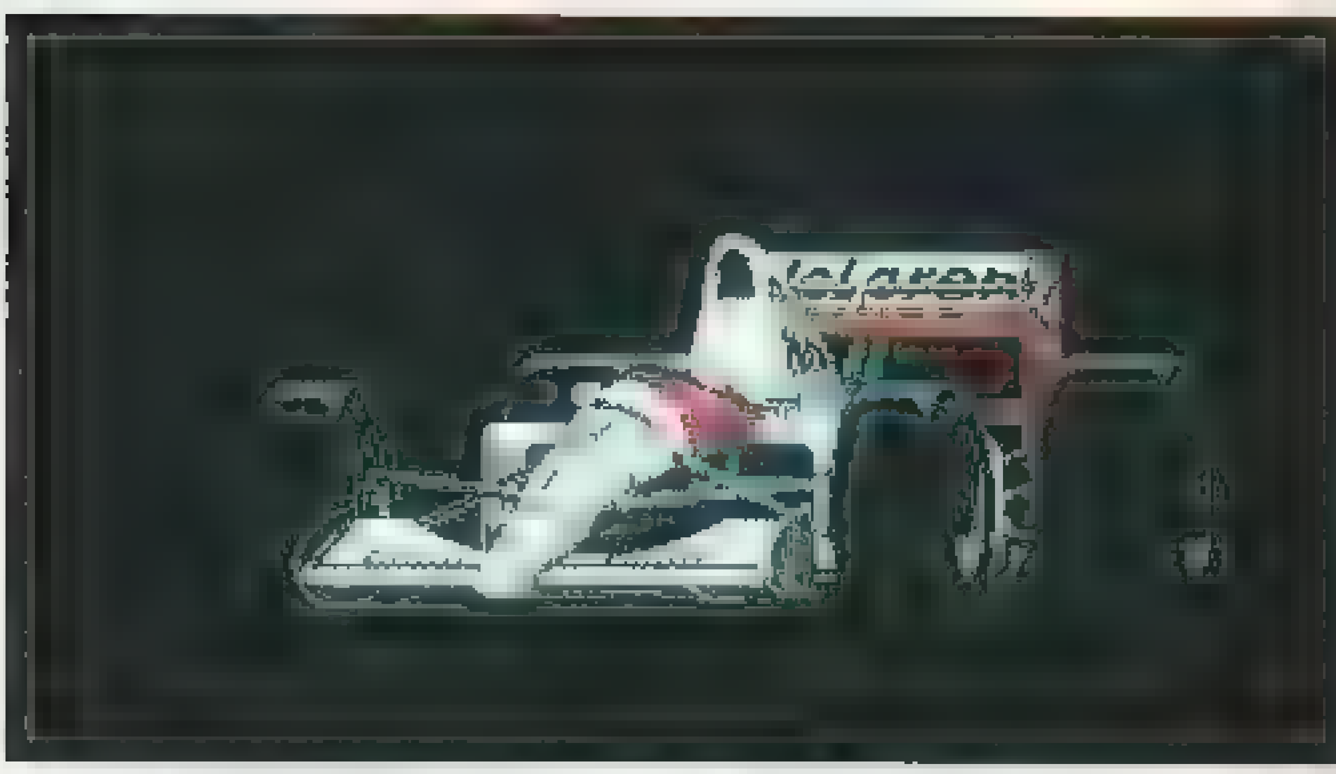
60年3月21日生 B型 174cm 72kg GPデビュー 84年ブラジルGP トールマン キャリア 出走 [illegible]回 優勝 30回 PP 56回 FL 15回 90年ドライバーズチャンピオン 好きなコース エストリル [illegible]



Gerhard BERGER
ゲルハルト・ベルガー(オーストリア)

59年8月27日生 O型 185cm・75kg GPデビュー 84年オーストリアGP ATS キャリア 出走 104回 優勝 5回 PP 6回 FL 4回 90年ドライバーズランキング4位・43ポイント 好きなコース [illegible]





66年にオリジナルマシンでF1に参戦したブルース・マクラーレンによって設立。'80年、マールボロ・スポンサードでF2を戦うロン・デニスのプロジェクト4と合体し、現在の隆盛のもとを築く。'84年、新採用のTAGポルシェ・ターボを積んだMP4/2は、16戦中12勝という圧倒的勝利を収める。'85年、'86年とプロストが連続チャンピオン、'88年セナとともにホンダ・ターボを導入したMP4/4は、16戦15勝と空前の勝率。以降3年連続でコンストラクターズチャンピオンとなるなど、つねに記録に挑戦しつづけるマクラーレンだ。

※PPはポールポジション　FLはファステストラップ

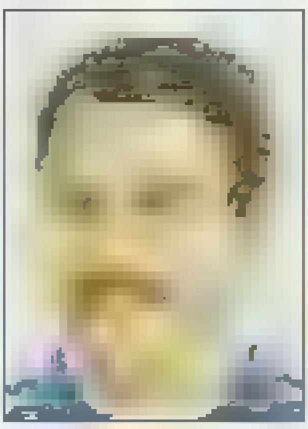
WILLIAMS　ウィリアムズ

■本拠地／イギリス・ディドコット
■GPデビュー　'72年イギリスGP
■出　　走　270回
■優　　勝／44回
■ＰＰ　　／32回
■ＦＬ　　／48回
■'90年リザルト／第4位・57ポイント
■代表者／フランク・ウィリアムズ
■シャシー／ウィリアムズFW14
■エンジン／ルノーV10/RS3
■タイヤ／グッドイヤー



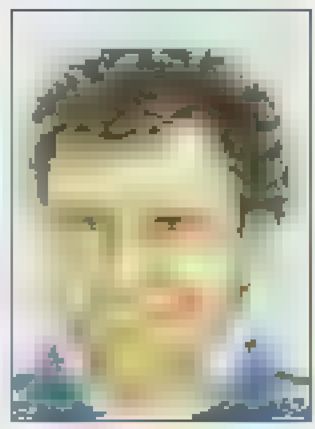
Nigel MANSELL
ナイジェル・マンセル（イギリス）

53年8月8日生　O型　180cm　80kg　GPデビュー：80年オーストリアGP（ロータス）　出走：154回　優勝：16回　PP：15回　FL：18回　'90年リザルト：5位・37ポイント　好きなコース：ブランズハッチ



Riccardo PATRESE
リカルド・パトレーゼ（イタリア）

54年4月17日生　A型　173cm　79kg　GPデビュー：77年モナコGP（シャドウ・9位）　出走：223回　優勝：3回　PP：4回　FL：8回　'90年リザルト：7位・23ポイント　好きなコース：モナコ

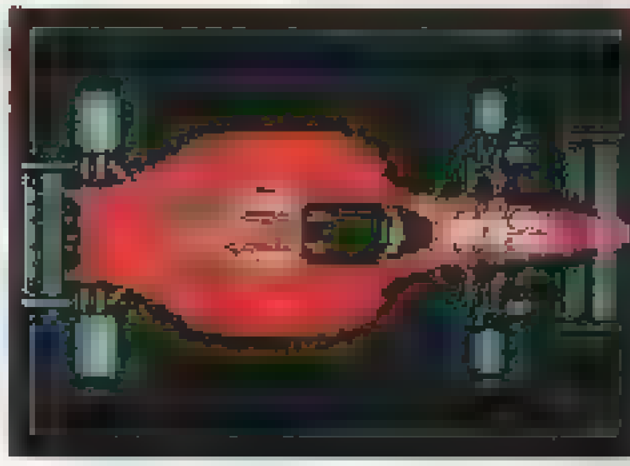




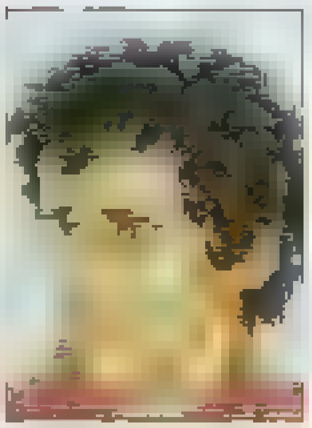
'72年オリジナルマシンFX3で参入したが、成績は芳しくなく、76年、現在のテクニカルディレクターであるパトリック・ヘッドが加入し、いまの礎を築く。'79ウィングカーFW07でイギリスGPに初優勝を果たし、シリーズ2位にランク。'80年は6勝をあげ、コンストラクターとドライバー（レガッツォーニ）の両タイトル、'81年コンストラクター、82年ドライバー（ロズベルグ）のタイトルを獲得。'86年、87年とコンストラクターズ・チャンピオン、87年はドライバー（ピケ）タイトルと黄金時代。'89年にルノーエンジンを獲得して以来、フランク・ウィリアムズによって、バランスの良いチームを維持している。

FERRARI

■本拠地 イタリア・モデナ
■GPデビュー 50年モナコGP
■出走 477回
■優勝 103回
■P.P /110回
■F.L /118回
■90年ランキング/2位・110ポイント
■代表者/ピエロ・フサロ
■シャシー/フェラーリ643
■エンジン/フェラーリV12 291
■タイヤ グッドイヤー



Alain PROST
アラン・プロスト（フランス）



55年2月24日生 AB型 165cm 62kg GPデビュー 80年アルゼンチンGP マクラーレン 通算出走 173回 優勝 44回 P.P 20回 F.L 35回 59年 サ ト ー メ2位 73ポイント 好きなコース 鈴鹿コース

Jean ALESI
ジャン・アレジー（フランス）



64年6月 日生 A型 173cm 72kg GPデビュー 89年フランスGP ティレル 出走 28回 最高位 2位 P.P なし F.L 回 90年 サル ト ス4位・3ポイント 好きなコース 鈴鹿 ア



F-1の歴史とともに歩むフェラーリ。'50年グランプリの第2戦から参戦し、51年イギリスGPで初優勝。'52年、53年、敗退は1戦のみと驚異的。'58年にはホーソーンがディノ256でドライバーズ・タイトル。'64年にはデザイナー、マウロ・フォルギエリ設計の158で、ジョン・サーティースがチャンピオン。60年代後半から低迷がつづくが'74年ニキ・ラウダが加入、75年から3年間、312Tでコンストラクターズ・チャンピオン。'82年コンストラクターズ・チャンピオン。革新的なF189を投入して以来つねにトップレベルの地位にある。エンツォ・フェラーリ亡き後は、チーム体制に混乱が生じている。

ベネトン　BENETTON

本拠地　イギリス・ウィトニー
GPデビュー　'8 年イタリアGP
出　走　42回
優　勝／5回
ＰＰ　／3回
ＦＬ　／8回
　ブル／3位・71ポイント
代表者／ルチアーノ・ベネトン
シャシー／ベネトンB191
エンジン／フォードV8/HB
タイヤ／ピレリ



Nelson PIQUET
ネルソン・ピケ（ブラジル）

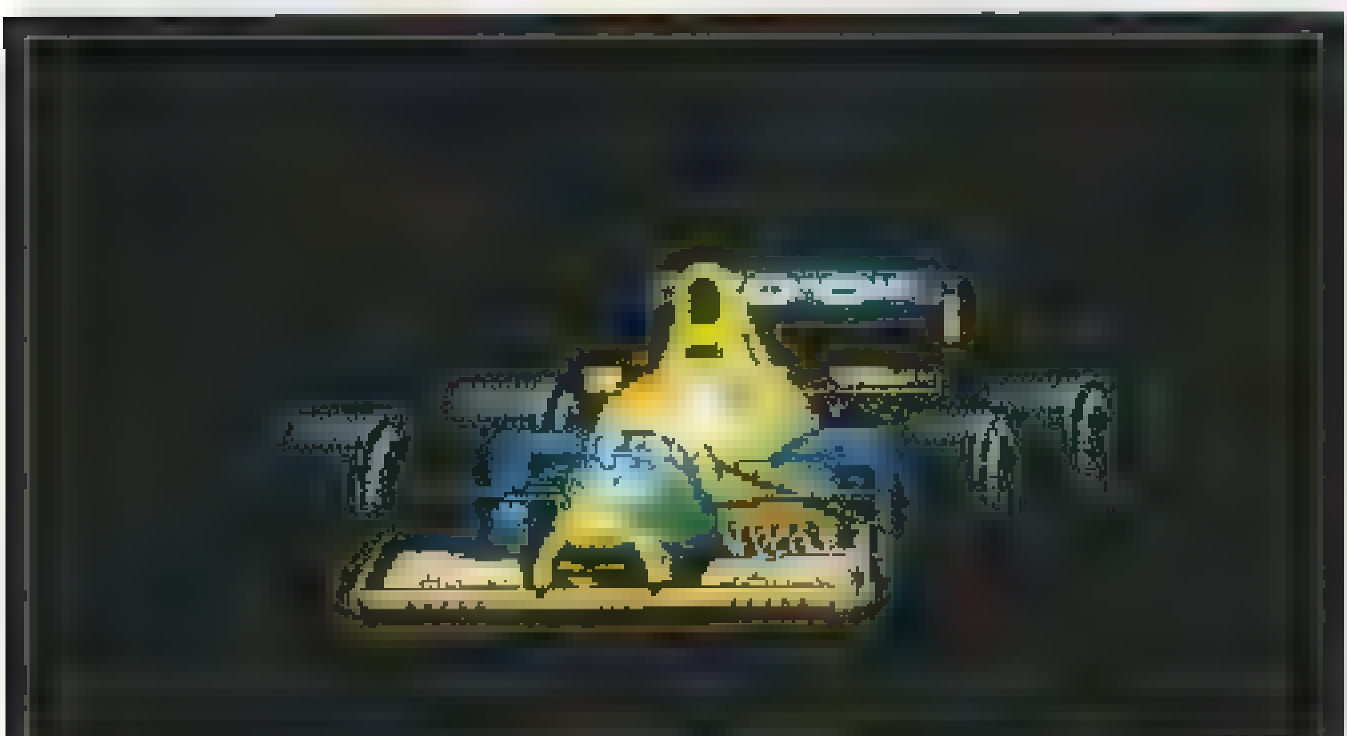
2年8月17日生 0歳
70cm 73kg
GPデビュー　'78年ドイツGP エンサイン　タイ
出走　93回 優勝 23回、PP 24回
　23回 '90年　サ
ト　ー　へ3 寺 44
イ　ト 好きな　へ
釣魚



Michael SCHUMACHER
ミハエル・シュマッハー（ドイツ）

69年 月3日生
GPデビュー　'9 年若手
　'90年 サート
　F3チャンピオン

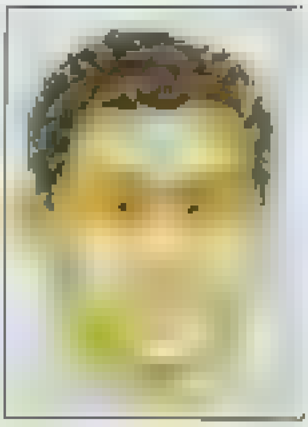




テッド・トルーマン率いるトルーマン・グループ・モータースポーツがF-2からF-1にステップアップして参入したのが'81年。'84年にはイギリスF-3チャンピオン、セナが加入。'86年、チームオーナーがルチアーノ・ベネトンに変わり、チーム名も変更して現在にいたる。'87年フォードV6ターボ、'88年フォードDFR、'89年ニューシャシーB 89Tで、ナニーニが日本GP初優勝。'90年、デザイナーにジョン・バーナード、また、ドライバーにピケが加入、日本・オーストラリアで連勝。現在、バーナードがチームを離れトム・ウォーキンショウ率いるTWRと提携している。

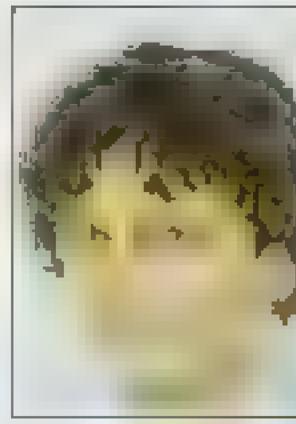
Satoru NAKAJIMA
中嶋 悟（日本）

'53年2月23日生 B型 165cm 60kg GPデビュー '87年ブラジルGP ロータス・7位 出走63回 最高位 4位 PP なし FL 1回、90年リザルト シリーズ 5位 3ポイント、好きなコース とくになし

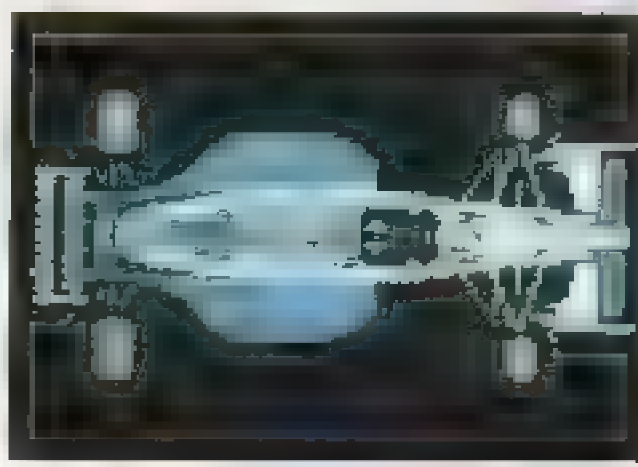


Stefano MODENA
ステファノ・モデナ（イタリア）

'63年5月 2日生 O型 173cm・70kg GPデビュー '87年オーストラリアGP ブラバム・リタイア 出走47回、最高位 2位、PP なし FL なし 90年リザルト シリーズ 6位 2ポイント 好きなコース とくになし



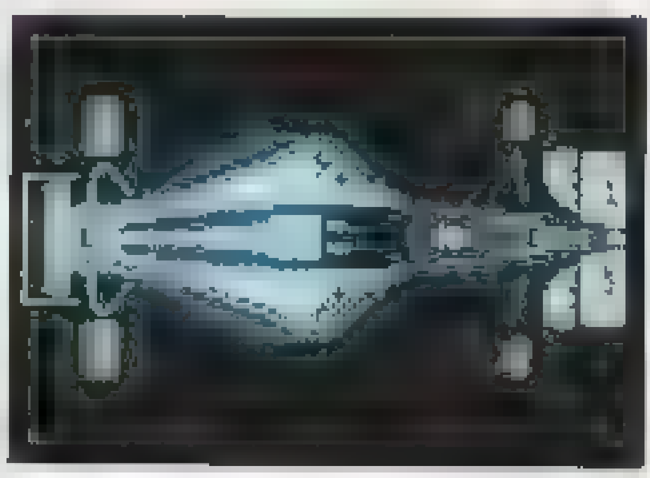
■本 拠 地／イギリス・ウォキング
■GPデビュー／'70年カナダGP
■出　　走／293回
■優　　勝／23回
■P P　　／14回
■F.L.　　／23回
■90年リザルト／5位・16ポイント
■代 表 者／ケン・ティレル
■シヤシー／ティレル020
■エンジン／ホンダV10/RA101E
■タ イ ヤ／ピレリ



TYRRELL ティレル

BRABHAM ブラバム

■本 拠 地／イギリス・チェシントン
■GPデビュー／'62年ドイツGP
■出　　走／380回
■優　　勝／35回
■P P　　／39回
■F.L.　　／4 回
■90年リザルト／8位タイ・2ポイント
■代 表 者／中内康児
■シヤシー／ブラバムBT60Y
■エンジン／ヤマハV12/OX99
■タ イ ヤ／ピレリ



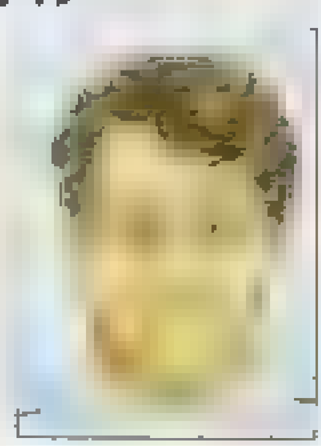
Martin BRUNDLE
マーティン・ブランドル（イギリス）

'59年6月1日生 A型 172cm・71kg GPデビュー '84年ブラジルGP ティレル・成績除外 出走 72回 最高位 4位、PP なし、FL なし。90年リザルト WSPCシリーズ 8位 好きなコース 鈴鹿



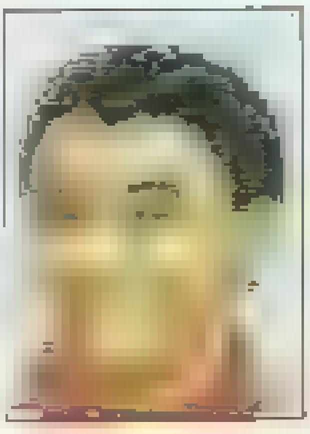
Mark BLUNDELL
マーク・ブランデル（イギリス）

'66年4月8日生 174cm・77kg GPデビュー '91年アメリカGP ブラバム・リタイア 出走 4回 最高位 8位 PP なし FL なし 90年リザルト WSPCシリーズ10位 好きなコース 全部



Michele ALBORETO
ミケーレ・アルボレート(イタリア)

[illegible]年2月23日生 A型 [illegible]m・76kg [illegible]デビュー [illegible]81年サ[illegible]GP [illegible]ティレル[illegible] 出走 [illegible]46回 [illegible]高位 5位 PP 2 [illegible] 4回 90年[illegible] [illegible]0ポイント 好き[illegible]ース モ[illegible] [illegible]ストン



Alex CAFFI
アレックス・カフィ(イタリア)

64年3月18日生 A型 65m・65kg GPデビュー 86年イタリアGP オゼラ・ラ[illegible] 数不足 出走 54回、最高位 4位 PP なし F.L. なし 90年 [illegible]ザルト [illegible]シリーズ 6位・2ポイント 好きなコース モナコ



■本 拠 地 イギリス・ミルトンケインズ
■GPデビュー '78年ブラジルGP
■出　　走 200回
■優　　勝/なし
■PP　　/1回
■F.L.　　/なし
■[illegible]リザルト/8位タイ・2ポイント
■代 表 者/大橋渡
■シャシー/フットワークFA 12
■エンジン/ポルシェV12
■タ イ ヤ/グッドイヤー



FOOTWORK

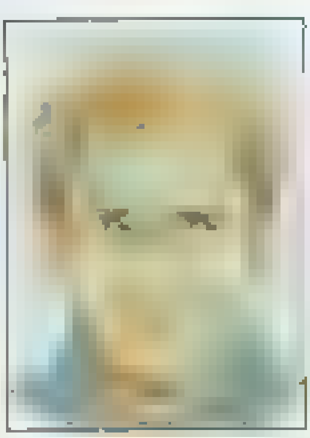
ロータス LOTUS

■本 拠 地 イギリス・ノーフォーク
■GPデビュー/'58年モナコGP
■出　　走/431回
■[illegible]
■P.P.　　/107回
■F.L.　　/70回
■[illegible]リザルト/7位・3ポイント
■代 表 者/ホルスト・シューヘル
■シャシー/ロータス102B
■エンジン/ジャッドV8/EV
■タ イ ヤ/グッドイヤー



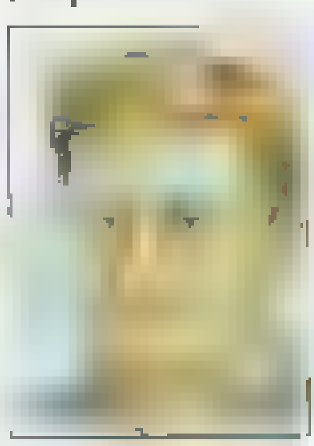
Mika HAKKINEN
ミカ・ハッキネン(フィンランド)

68年9月28日生 80m・68kg GPデビュー/91年アメリカGP(ロータス)リタイア 出走 5回 最高位 5位 PP なし F.L. なし 90年リザルト イギリスF3チャンピオン 好きなコース マカオ



Johnny HERBERT
ジョニー・ハーバート(イギリス)

64年6月25日生 O型 65m・66kg GPデビュー 89年ブラジルGP ベネトン・6位 出走 8回、最高位 4位、PP なし F.L. なし 90年リザルト 0ポイント 好きなコース ブランズハッチ

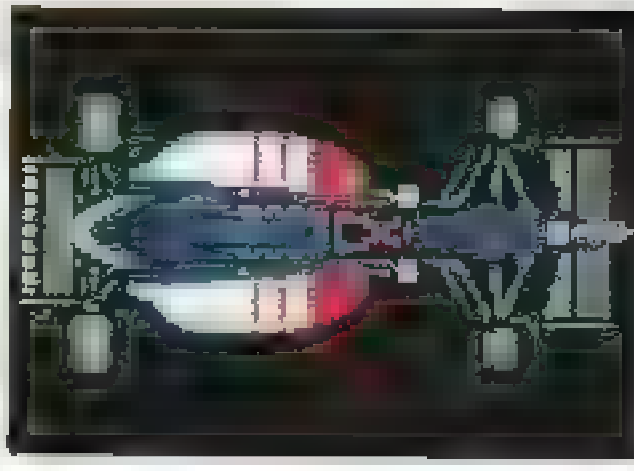


Olivier GROUILLARD
オリビエ・グルイヤール(フランス)

'58年9月2日生 O型
172cm 72kg
GPデビュー '89年ブラジルGP(リジェ・9位) 出走 2回 最高位 6位、PP なし、FL なし。'90年リザルト 0ポイント 好きなコース スパ=フランコルシャン



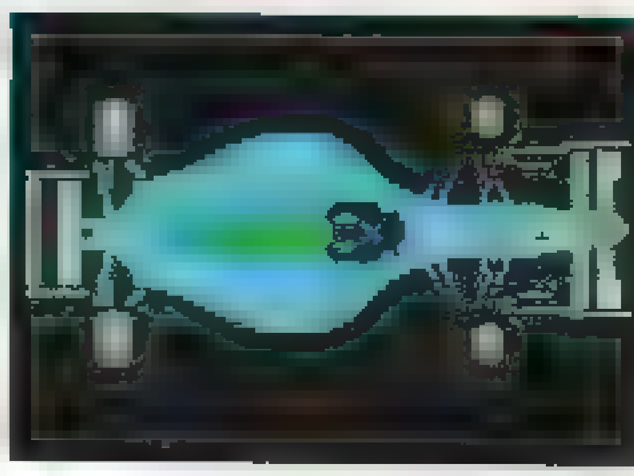
■本 拠 地／イタリア・トリノ
■GPデビュー／'80年南アフリカGP
■出　　走／32回
■優　　勝／なし
■PP　　／なし
■F.L.　　／なし
■'90年リザルト／0ポイント
■代 表 者／ガブリエレ・ルミ
■シャシー／フォメット1-91
■エンジン／コスワースV8/DFR
■タ イ ヤ／グッドイヤー



FONDMETAL

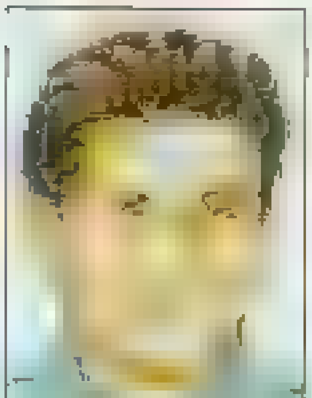
LEYTON HOUSE レイトンハウス

■本 拠 地／イギリス・ビスター
■GPデビュー／'70南アフリカGP
■出　　走／203回
■優　　勝／3回
■PP　　／5回
■F.L.　　／7回
■'90年リザルト／6位・7ポイント
■代 表 者／赤城明
■シャシー／レイトンハウスCG911
■エンジン／イルモアV10/LH10
■タ イ ヤ／グッドイヤー



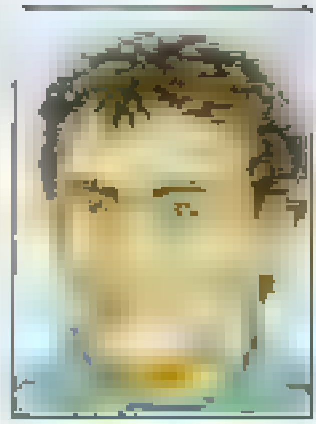
Mauricio GUGELMIN
マウリシオ・グージェルミン(ブラジル)

'63年4月20日生 A型
177cm・78kg
GPデビュー '88年ブラジルGP(マーチ・リタイア) 出走 48回、最高位 3位 PP なし、FL 1回 '90年リザルト シリーズ18位・1ポイント 好きなコース 高速コース



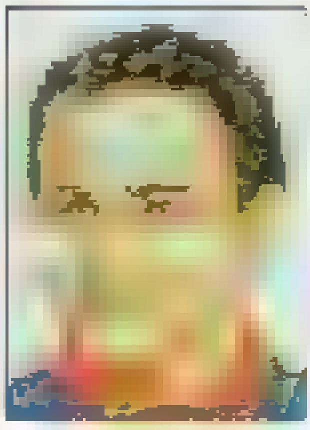
Ivan CAPELLI
イヴァン・カペリ(イタリア)

'63年5月24日生 O型
174cm・7[illegible]kg
GPデビュー '85年ヨーロッパGP(ティレル・リタイア) 出走 69回 最高位 2位、PP なし、FL なし。'90年リザルト シリーズ10位・6ポイント 好きなコース エステルライヒリンク



Gabriele TARQUINI
ガブリエーレ・タルクィーニ（イタリア）

62年3月2日生 B型
77m・72kg
GPデビュー 87年サンマリノGP オゼッラ・ノタイア 出走 22回 最高位 6位 PP なし FL なし '90年リザルト 0ポイント 好きなコース スペーフランコルシャン



Fabrizio BARBAZZA
ファブリツィオ・バルバッツァ（イタリア）

63年4月2日生 B型
7 m 68kg
GPデビュー '9 年初エントリー 出走 最高位 PP FL なし 好きなコース 鈴鹿



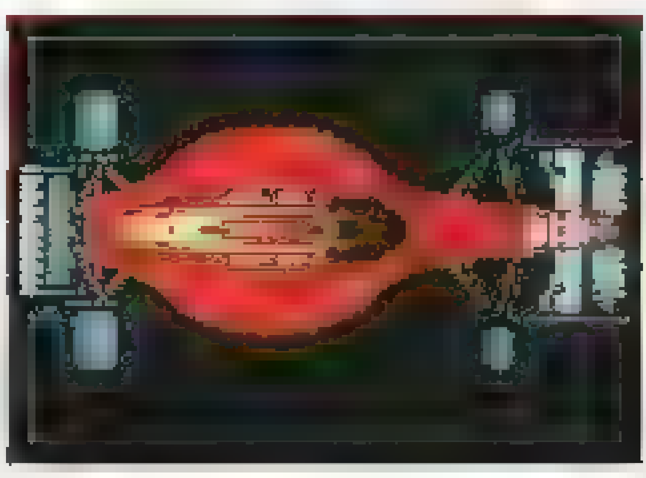
■本 拠 地 フランス・ゴンファロン
■GPデビュー '86年ブラジルGP
■出　　走 48回
■優　　勝／なし
■P.P　　／なし
■F.L　　／なし
■'90年リザルト／0ポイント
■代 表 者／パトシオ・カントゥ
■シャシー／エーシーエスJH25
■エンジン／コスワースV8/DFR
■タ イ ヤ／グッドイヤー



AGS

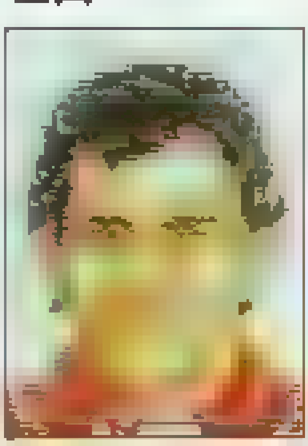
ダラーラ（スクーデリア・イタリア） DALLARA

■本 拠 地 イタリア・ブレシア
■GPデビュー '88年ブラジルGP
■出　　走 51回
■優　　勝／なし
■P.P　　／なし
■F.L.　　／なし
■'90年リザルト／0ポイント
■代 表 者／ビットリオ・バラツァーニ
■シャシー／ビーエムエス・ダラーラF 91
■エンジン／ジャッドV 0, GV
■タ イ ヤ／ピレリ



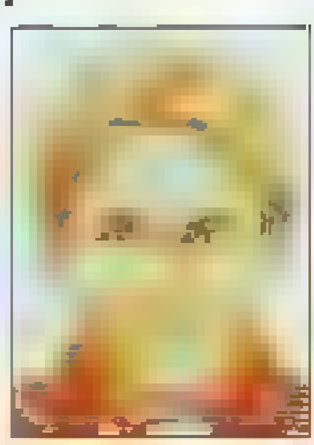
Emanuelle PIRRO
エマニュエーレ・ピロ（イタリア）

62年 月 2日生 O型
82m・72kg
GPデビュー 89年フランスGP ベネトン 9位 出走 28回 最高位 5位 PP なし FL なし 90年 ザルト 0ポイント 好きなコース 鈴鹿



JJ LEHTO
ジェイジェイ・レート（フィンランド）

66年 月3 日生 A型
79m 69kg
GPデビュー 89年スペインGP オニックス・ノタイア 出走 回、最高位 3位 PP なし FL なし、'90年リザルト 0ポイント、好きなコース とくになし



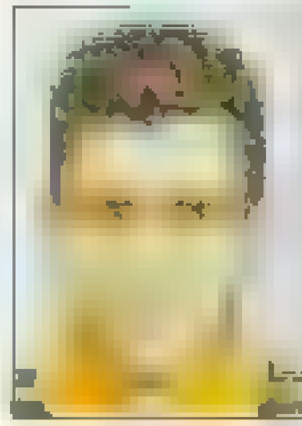
Pierluigi MARTINI
ピエルルイジ・マルティニ(イタリア)

61年4月23日生 B型
1.65m・66kg
GPデビュー 85年ブラジルGP ミナルディ・ピレリタイヤ 出走 59回 最高位 4位 PP なし FL なし 90年リザルト 0ポイント 好きなコース イモラ

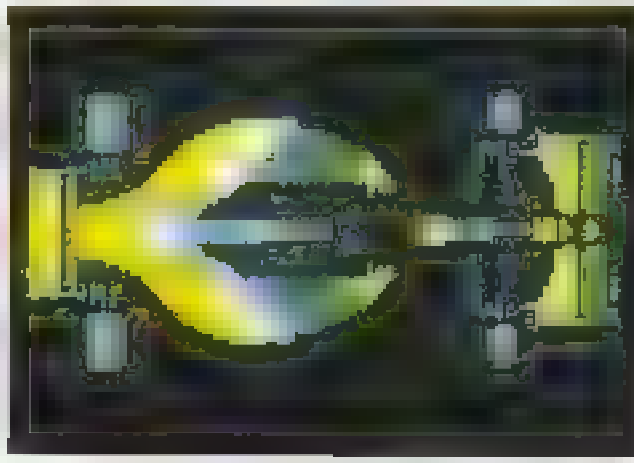


Gianni MORBIDELLI
ジャンニ・モルビデリ(イタリア)

68年1月?日生 O型
1.68m・65kg
GPデビュー 90年ブラジルGP ダラーラ 4戦 出走 8回 最高位 8位 PP なし FL なし 90年リザルト ノーポイント 好きなコース ?



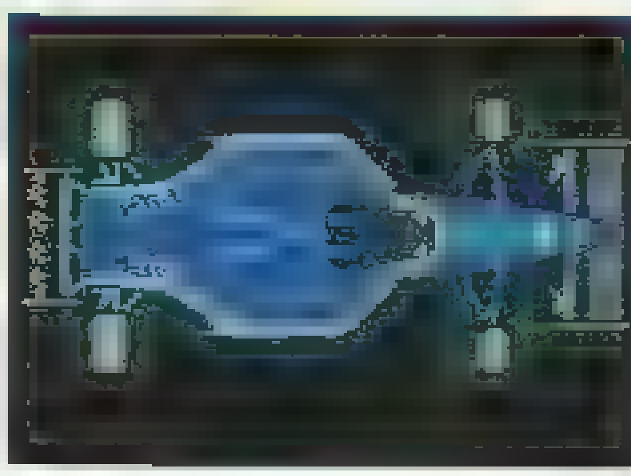
■本 拠 地/イタリア・ファエンツァ
■GPデビュー/85年ブラジルGP
■出　　走/97回
■優　　勝/なし
■P P　　/なし
■F L　　/なし
■90年リザルト/0ポイント
■代 表 者/ジャンカルロ・ミナルディ
■シャシー/ミナルディM191
■エンジン/フェラーリV12/M3
■タ イ ヤ/グッドイヤー



MINARDI ミナルディ

LIGIER リジェ

■本 拠 地/フランス・マニ・クール
■GPデビュー/76年ブラジルGP
■出　　走/234回
■優　　勝/8回
■P P　　/9回
■F L　　/?回
■90年リザルト/0ポイント
■代 表 者/ギ・リジェ
■シャシー/リジェJS35
■エンジン/ランボルギーニ V12 3512EVO3
■タ イ ヤ/グッドイヤー



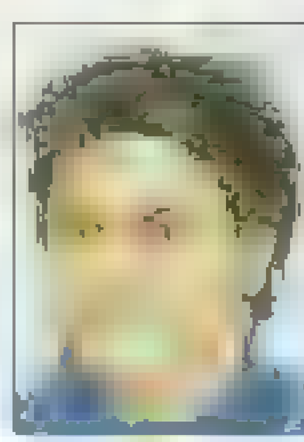
Thierry BOUTSEN
ティエリー・ブーツェン(ベルギー)

57年7月13日生 O型
1.83m・75kg
GPデビュー 83年ベルギーGP アロウズ・タイア 出走 126回 優勝 3回 PP ?回 FL ?回 90年リザルト 6位・34ポイント 好きなコース スパ=フランコルシャン 鈴鹿

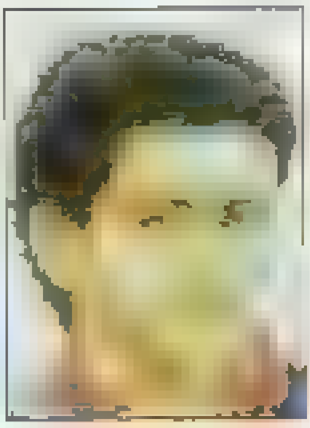


Erik COMAS
エリック・コマス(フランス)

63年9月28日生 O型
1.76m・72kg
GPデビュー 9?年ブラジルGP ?エ タイア 出走 4回 最高位 8位 PP なし FL なし 90年ノーサック 国際F3000シリーズチャンピオン 好きなコース ? ス フラ コルシャン

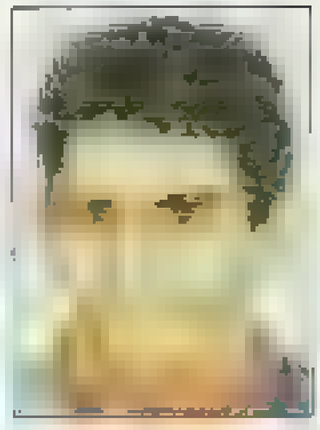


Eric BERNARD
エリック・ベルナール（フランス）



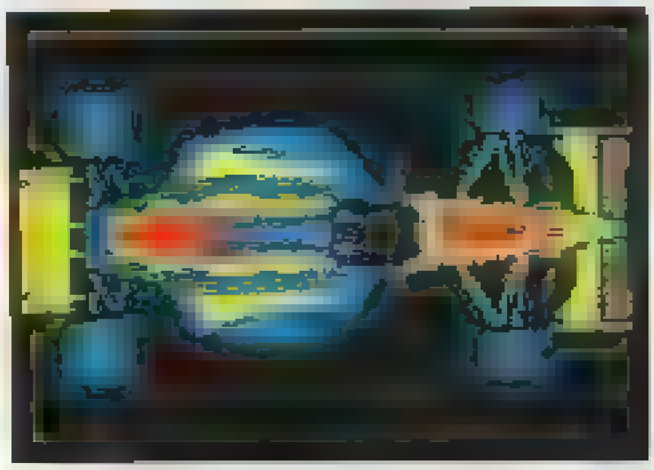
64年8月26日生 O型
?cm・?kg
GPデビュー '89年フランスGP ロ…ク・11 出走 23回 最高4位、PPなし、FLなし '90年リザルト…ス 3位・5ポイント 好きなコース…レス

Aguri SUZUKI
鈴木 亜久里（日本）



60年9月8日生 A型
80cm・68kg
GPデビュー '88年日本GP ロ…ク 16位 出走 2回 最高位 3位、PPなし FLなし、90年リザルト…リ…ス、2位・6ポイント、好きなコース 鈴鹿

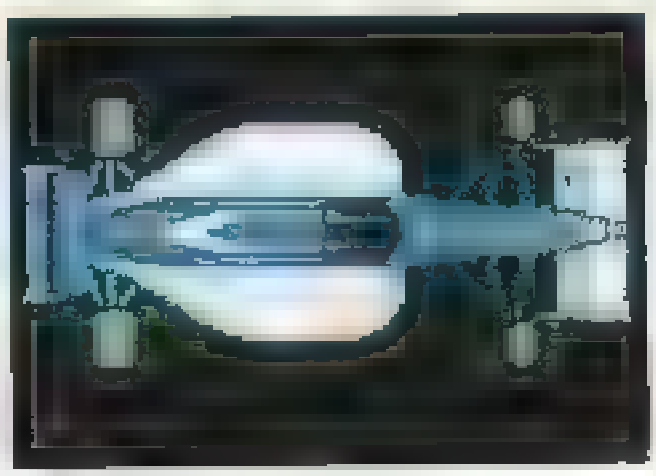
■本 拠 地 フランス・インーレムーノー
■GPデビュー '62年オランダGP
■出　　走 15回
■優　　勝／なし
■P P　　／回
■F L　　／なし
■90年リザルト／レギュレーション違反でポイント6抹消
■代 表 者／ジェラール・ラルース
■シャシー／ラルース・ローラLC91
■エンジン／コスワースV8/DFR
■タ イ ヤ／グッドイヤー



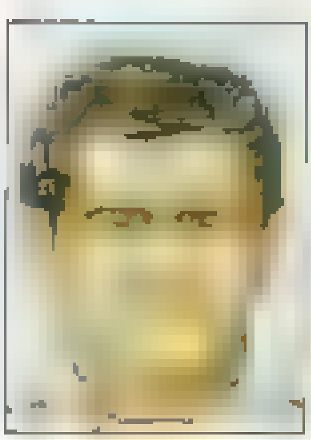
LARROUSSE

COLONI

■本 拠 地 イタリア・ペルージア
■GPデビュー／'87年スペインGP
■出　　走 13回
■優　　勝／なし
■P P　　／なし
■F L　　／なし
■90年リザルト／全戦予備予選・予選不通過
■代 表 者／エンツォ・コローニ
■シャシー／コローニC4
■エンジン／コスワースV8/DFR
■タ イ ヤ／グッドイヤー



Pedro Matos CHAVES
ペドロ・マトス・チャベス（ポルトガル）

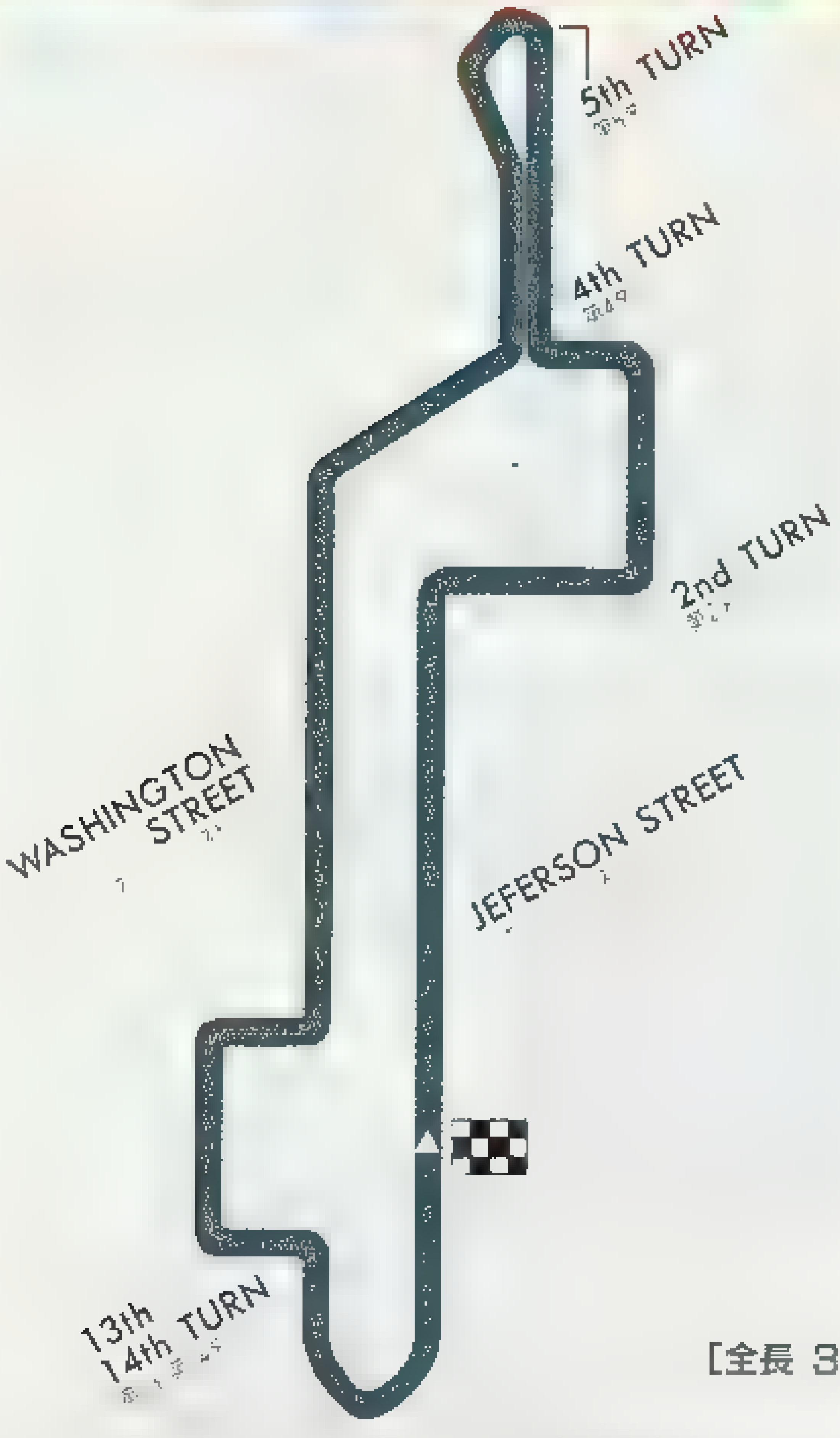


65年2月27日生 A型
62cm 66kg
GPデビュー '91年初エントリー 出走 優勝 PP、FLなし 90年リザルト イギリスF3000シリーズチャンピオン 好きなコース ドニントン

ROUND 1

U.S.A.GP

アメリカグランプリ



[全長 3.720km]

フェニックス・グランプリ・サーキット

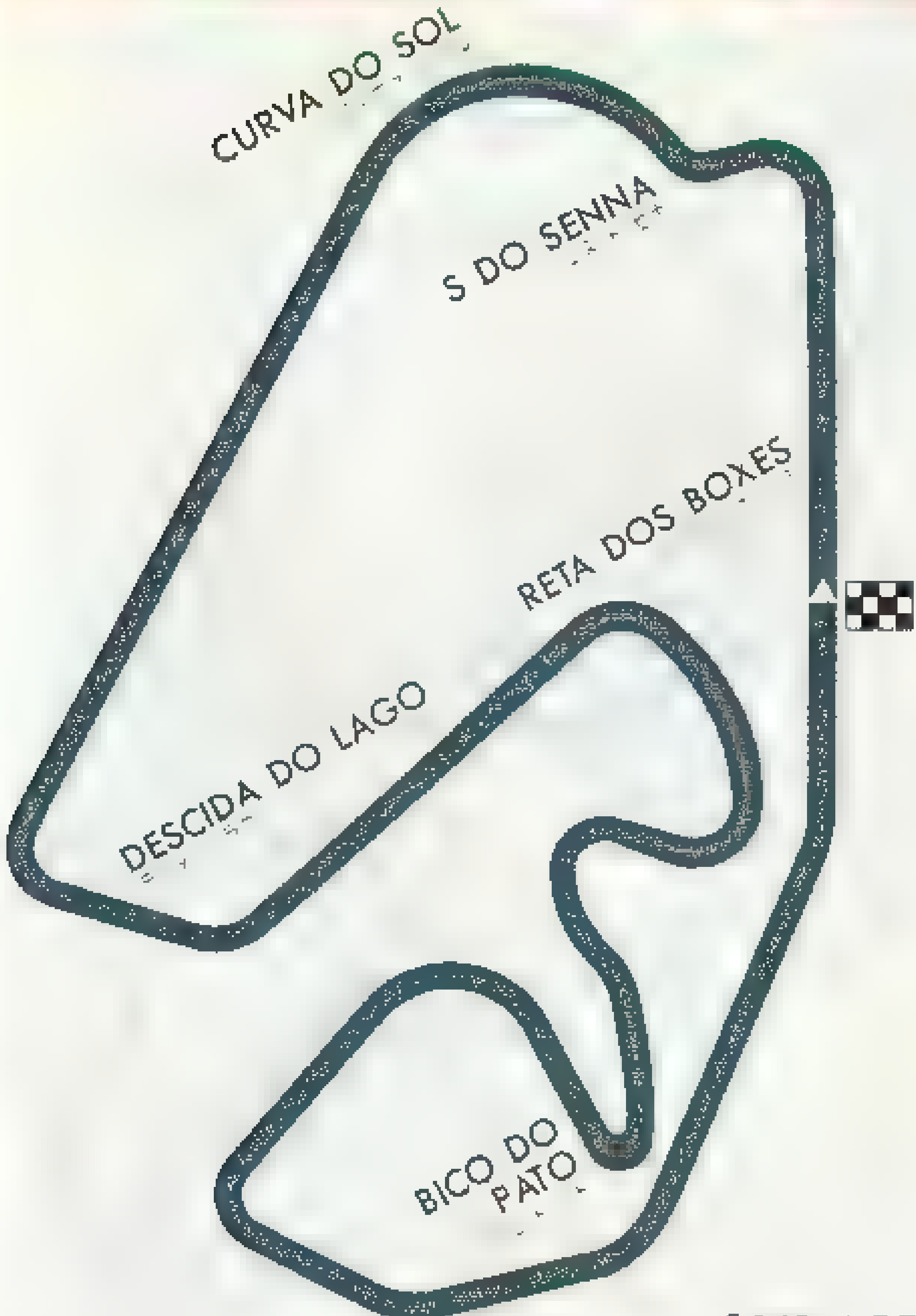
砂漠の人口都市フェニックスの市街地に、コンクリートと金網で区切ったストリートがコースだ。アメリカコースの特徴である直角コーナーに加え、ヘアピンカーブも設けられた。さまざまなコース幅とスリップしやすい路面は、ベストラインが1本で追い越しがなかなか困難だ。そして、公道コースによる接触も多く、一瞬の判断ミスが、リタイアを招くおそれもある。

ROUND 2

BRAZIL GP

ブラジルグランプリ

BRA G-P



[全長 4.325km]

アウトドローモ・ホセ・カルロス・パーチェ(インテルラゴス)

セナのふるさとサンパウロ郊外、標高800メートルの高地にあり、コース中心部が低いため、起伏に富んでいる。滑りやすいインフィールドのコーナー、バンピーな長い直線で構成されており、マシンセッティング能力が勝負の鍵だ。ブレーキング、ウイングなどに気をつけよう。

ROUND 3

SAN MARINO GP

サンマリノグランプリ



[全長 5.048㎞]

アウトドローモ・エンツォ・エ・ディノ・フェラーリ（イモラ）

名前のとおり、フェラーリ"の本拠地。ヨーロッパ最初のラウンドで、各チームのチューンナップされたニューカーがそろい、実質的な開幕戦だ。有名なコーナー"トサ"をはじめあらゆるタイプのコーナーと高速ストレートから構成される"グランプリ・スタンダード・サーキット"。マシンの総合性能チェックに最適、また、ドライバーのテクニックも要求されるのだ。

MONACO GP

モナコグランプリ MON G.P



[全長 3.328km]

サーキット・デ・モナコ

世界有数のリゾート地・モナコの公道につくられたコースだ。狭く曲がりくねったコースは、高低差も大きな低速コースである。3秒に1回、全コースでは約2500回のシフトチェンジが必要といわれる。そのため、マシンはギア系統の耐久性が、またドライバーには過度のコンセントレーションが要求される。海に臨む美しさ、トンネルなど、伝統と権威にあふれるコースだ。

ROUND 5

CANADA GP

カナダグランプリ





［全長 4,430km］

サーキット・ジル・ビルニューブ

モントリオールの中心、万博跡地の周遊道路につくられた、フラットな中高速コースだ。バンピーな路面は不安定なブレーキングを呼び、また、公園の土砂が路面に入り、滑りやすい。季節的にも気候が不順で、雨を意識したレース展開、燃費との戦いなど、意外なチームが活躍できる可能性がある。

MEXICO GP

メキシコグランプリ





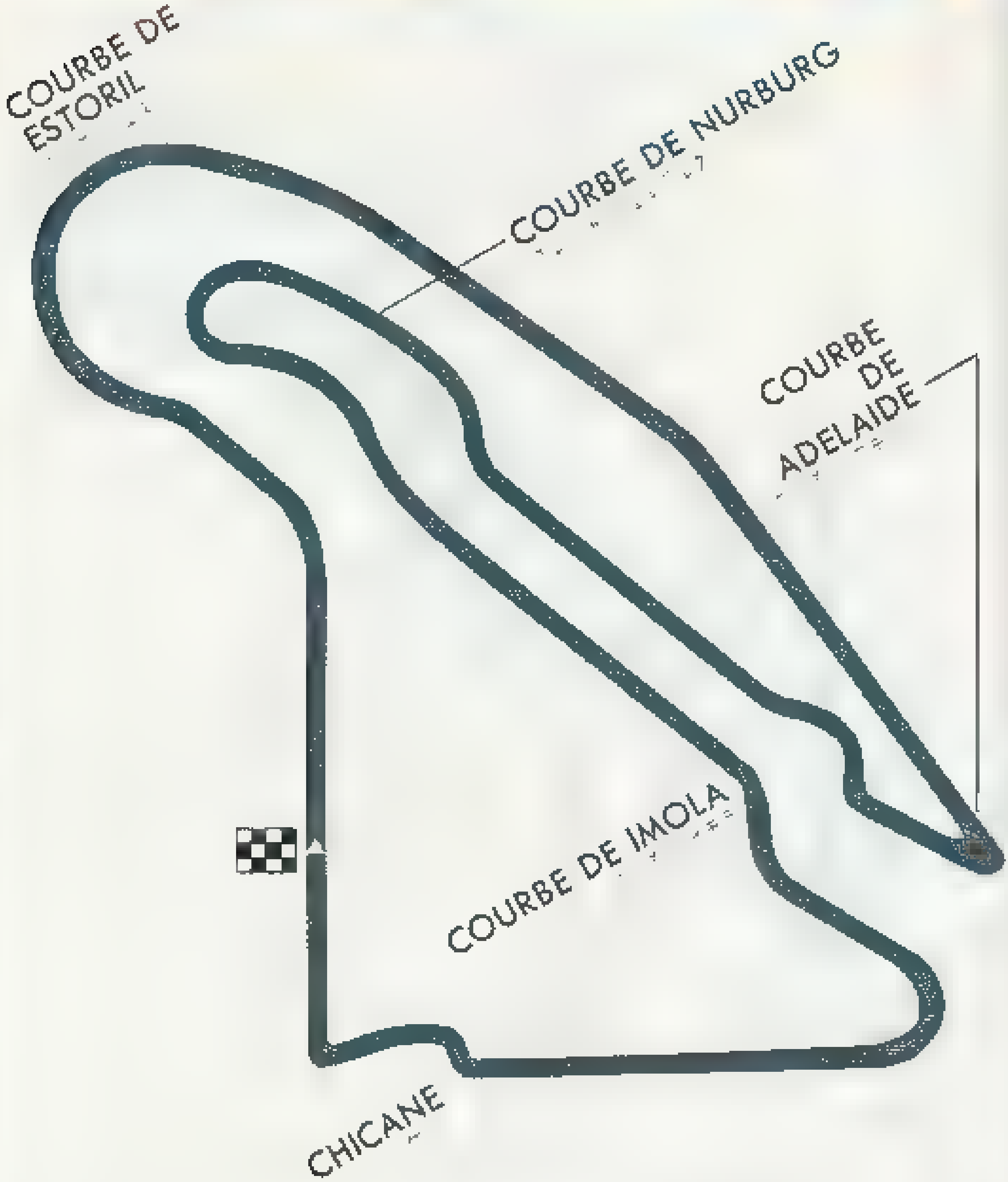
［全長 4.421㎞］

アウトドローモ・エルマノス・ロドリゲス

標高2240メートルという高地だけに、空気が薄いためウィング効率が低下する。そのセッティングとコーナリングが勝負の決め手となる。ストレートが3本（1000メートル、500メートル、450メートル）と複合コーナーだが、路面はバンピーで滑りやすいため、タイヤセッティングが重要だ。

FRANCE GP

フランスグランプリ



[全長 4.272㎞]

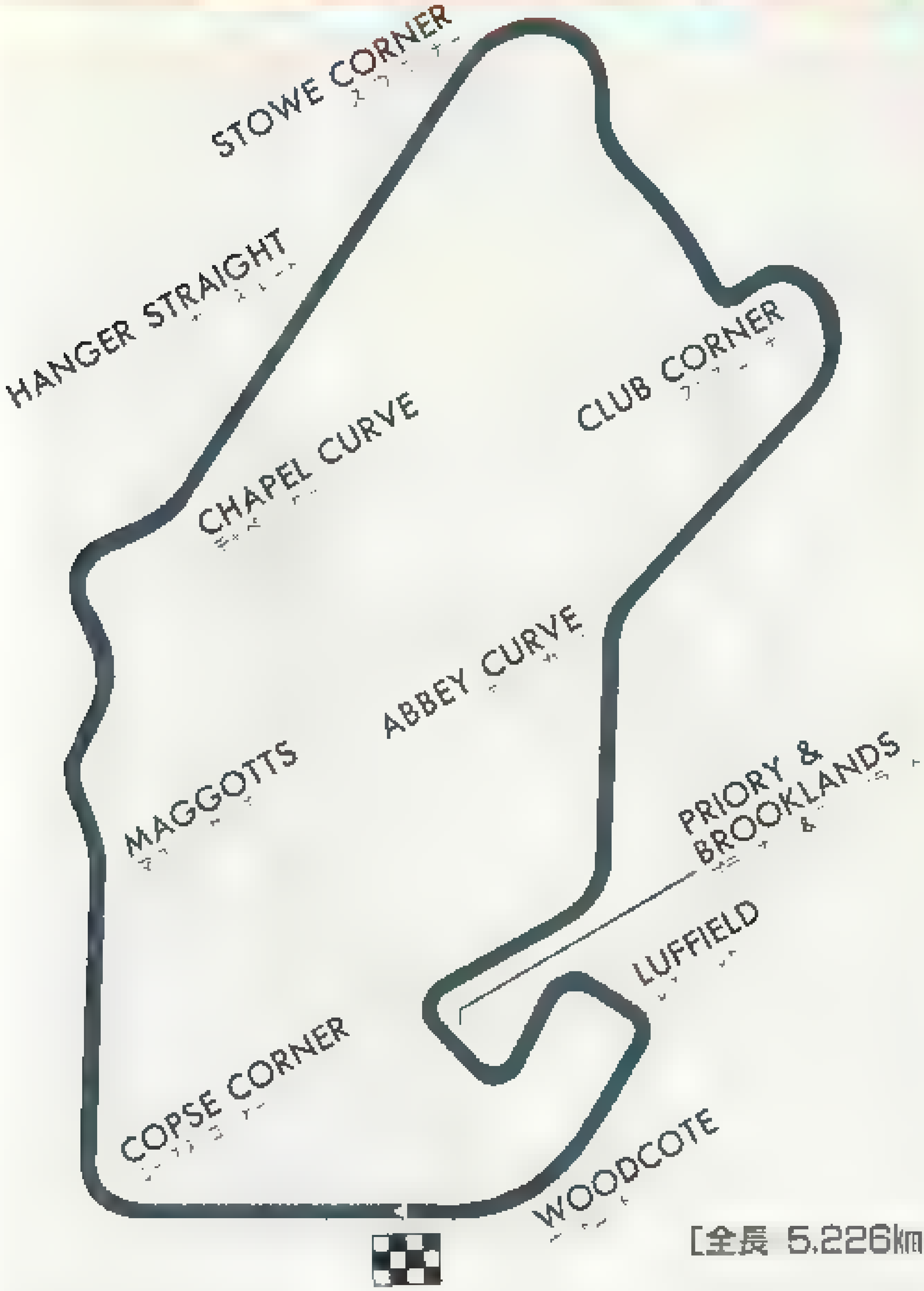
サーキット・デ・ヌーベル・マニ・クール

シリーズの勝負どころが始まるといわれるフランスGP。'91年までのポール・リカールに代わって、マニ・クールで開かれる。高速コーナーをはじめとして、複合コーナー、ヘアピンなどバリエーション豊かなコーナーと、ストレートで構成される高速コースだ。各チーム・ドライバーとも、チェックポイントもはっきりしてきて、闘いはこれからだ。リジェの本拠地。

ROUND 8

GREAT BRITAIN GP

イギリスグランプリ



[全長 5.226km]

シルバーストン・サーキット

10のコーナーを18に増やし、平均速度を落す改修が施された新コースである。超高速コースから、高速テクニカルコースへと変化したものの、スムーズな路面、広いグリーンなど、モータースポーツ発祥の地イギリスの、素晴らしい環境は代わっていない。各コーナーでのハイレベルの戦いは、まさに圧巻である。イギリス系チームの拠点は、ほとんど、シルバーストーンの半径50キロにある。

ROUND 9

GERMANY GP

ドイツグランプリ





[全長 6.802km]

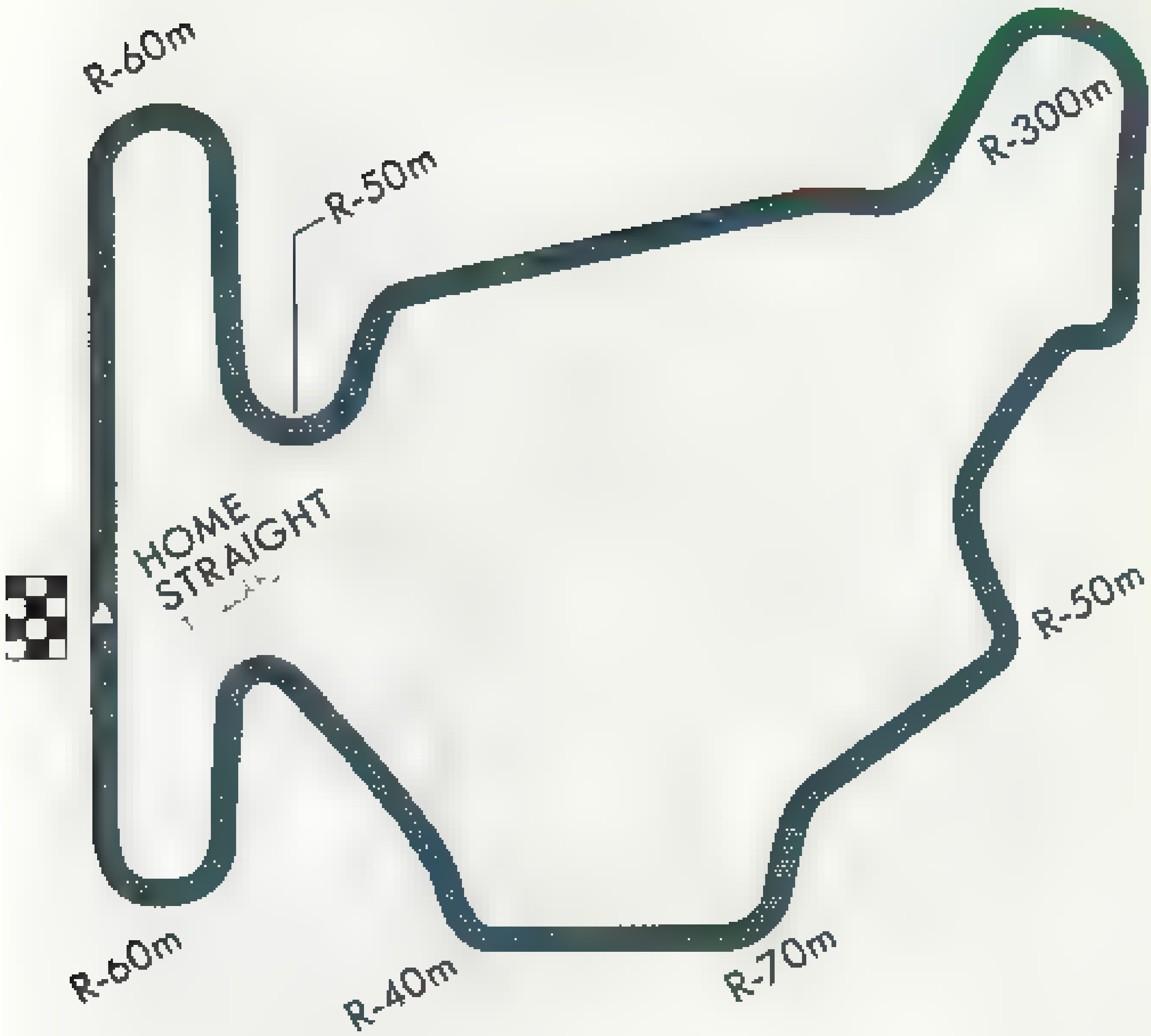
ホッケンハイム・リンク

森に囲まれた高速コース。2本のロングストレートと、3つのシケインが微妙に組み合わされており、空力セッティングがポイントとなる。また、最高速度が300キロを超えるため、エンジンの耐久性も重要なファクターとなる。ドイツGPから後半戦に入り、ポイント争いも熾烈を極めるGPだ。

ROUND 10

HUNGARY GP

ハンガリーグランプリ



[全長 3.968km]

ハンガロリンク

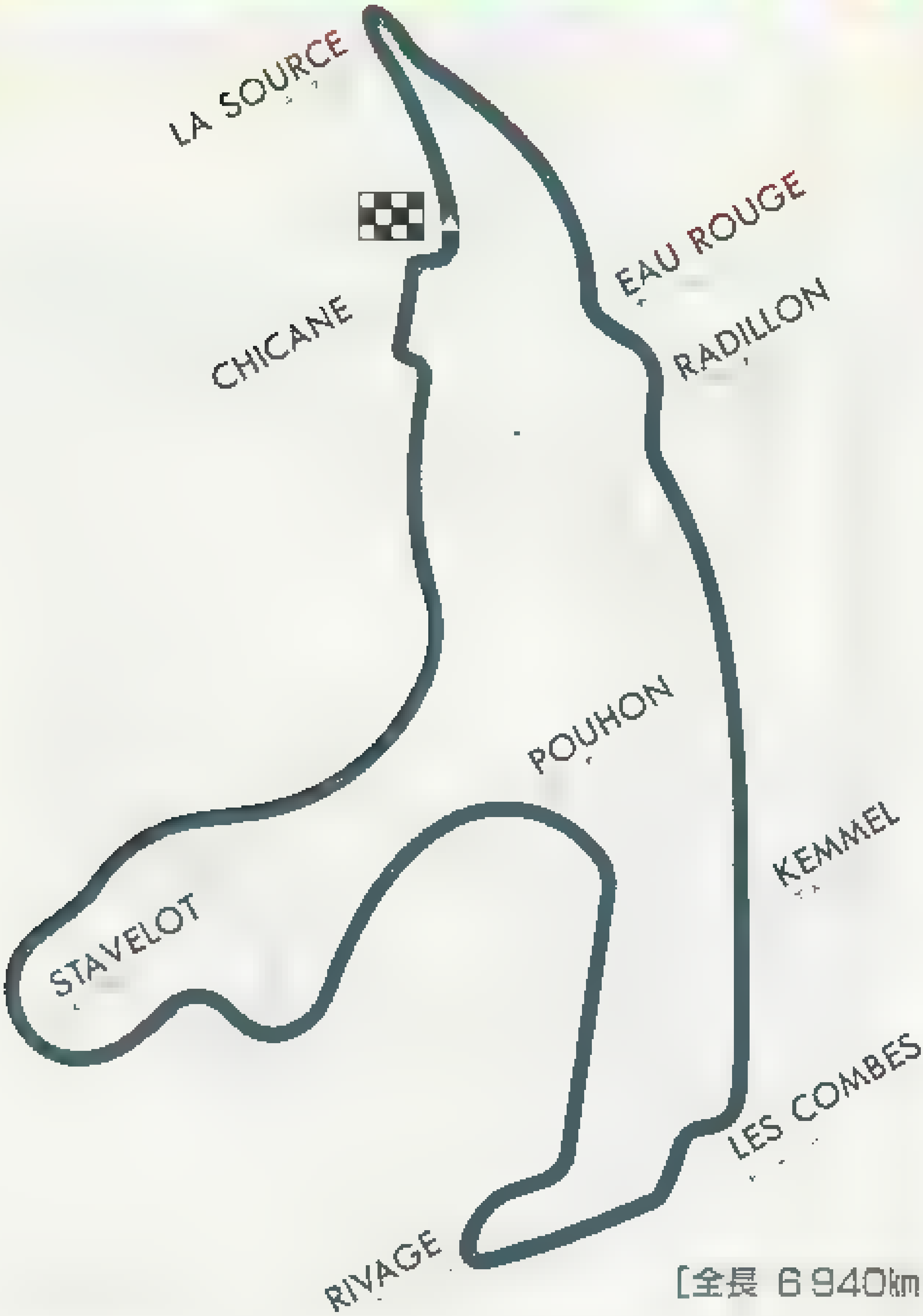
タイトなコーナーが連続する。それも右かわ左かわとコーナーだらけ。そしてストレートの最長は700メートルという超低速コースである。追越しは第1コーナーだけで、ポールを獲りたいところだ。滑りやすい路面に対応した、タイヤとサスペンションのセッティング、ブレーキと加速のテクが勝敗を分ける。

ROUND 11

BELGIUM GP

ベルギーグランプリ





[全長 6.940km]

サーキット・デ・スパ-フランコルシャン

アルデンヌ高原の森林に開かれた、ワインディングロードのGP唯一のグランプリだ。公道とクローズドサーキットで構成されている。有名な「オー・ルージュ、赤い水」は上下左右前後からのGがドライバーにおそいかかるハードなコーナーだ。「スパ・ウェザー」と呼ばれる急変する気候もレースに大きく関わる。ポイント争いも大詰めを迎えようとしている。

ROUND 12

ITALY GP

イタリアグランプリ

R12 ITA G.P



[全長 5.800km]

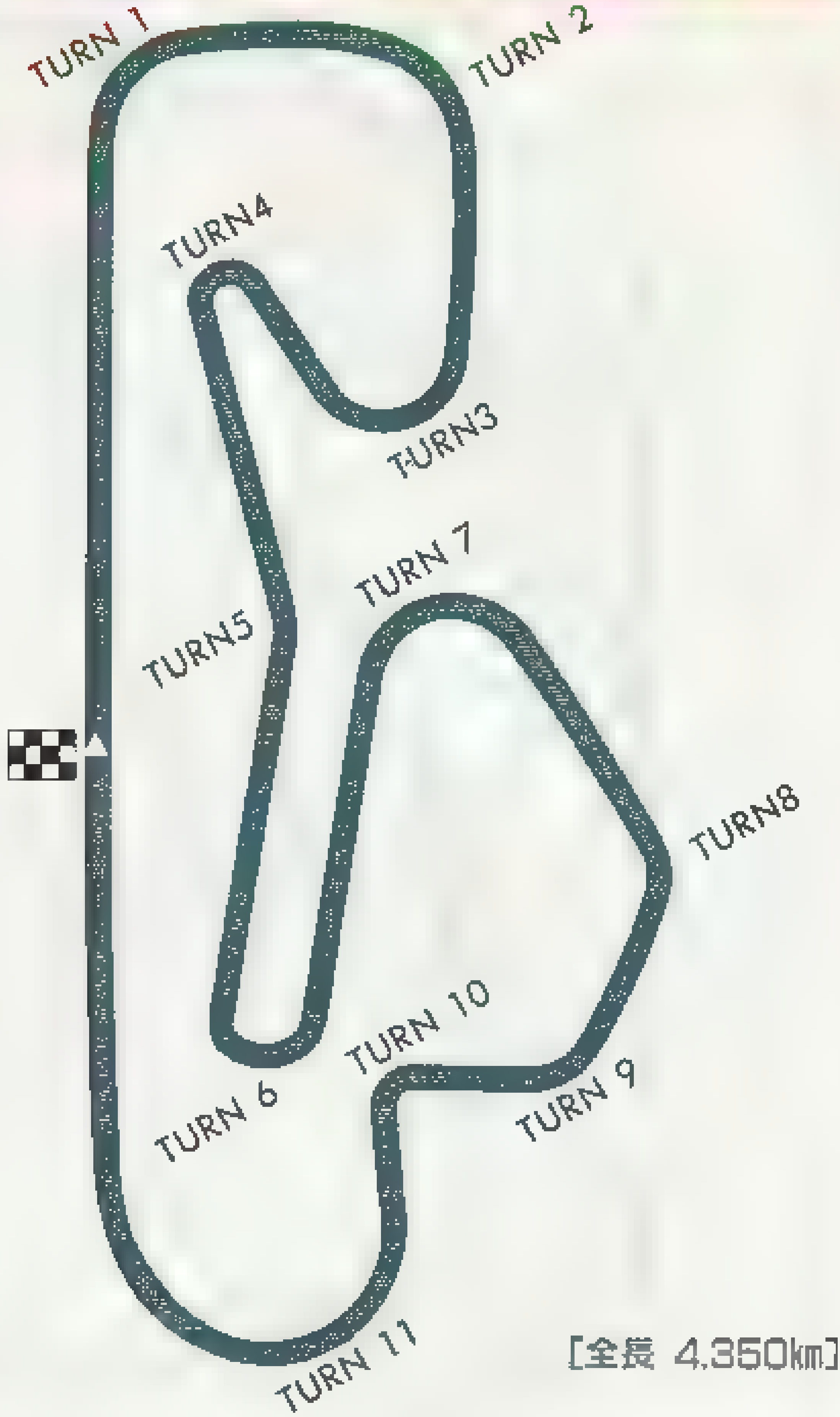
アウトドローモ・ナツィオナーレ・ディ・モンツァ

GPのパーマネントコースの中では最も古いのがモンツァだ。ストレートに高速コーナー、そして3つのシケインというシンプルなレイアウトで最高速は340キロは出る。展開ポイントはシケインと最高速からの減速で、正確なブレーキングだ。またタイヤのチョイスと交換の有無・タイミングもキーだ。

ROUND 13

ポルトガルグランプリ

POR G.P



アウトドローモ・ド・エストリル

11のコーナーのうち右が8つ、そして1キロのストレートの、中速コースだ。路面はバンピータでタイヤにシビアであり、タイヤチェンジなどの「タイヤウォース」がレースの決め手。このコースは各チームともテストを繰返し、データが十分に揃っている。また、マシンも煮詰められている。さらに、チャンピオンシップも、ドライバー、コンストラクターとも大詰めだ。エキサイティングなレースが毎年繰り広げられる。

ROUND 14

SPAIN GP

R14

スペイングランプリ SPA.G.P.



[全長 4.747km]

サーキット・デ・カタロニア

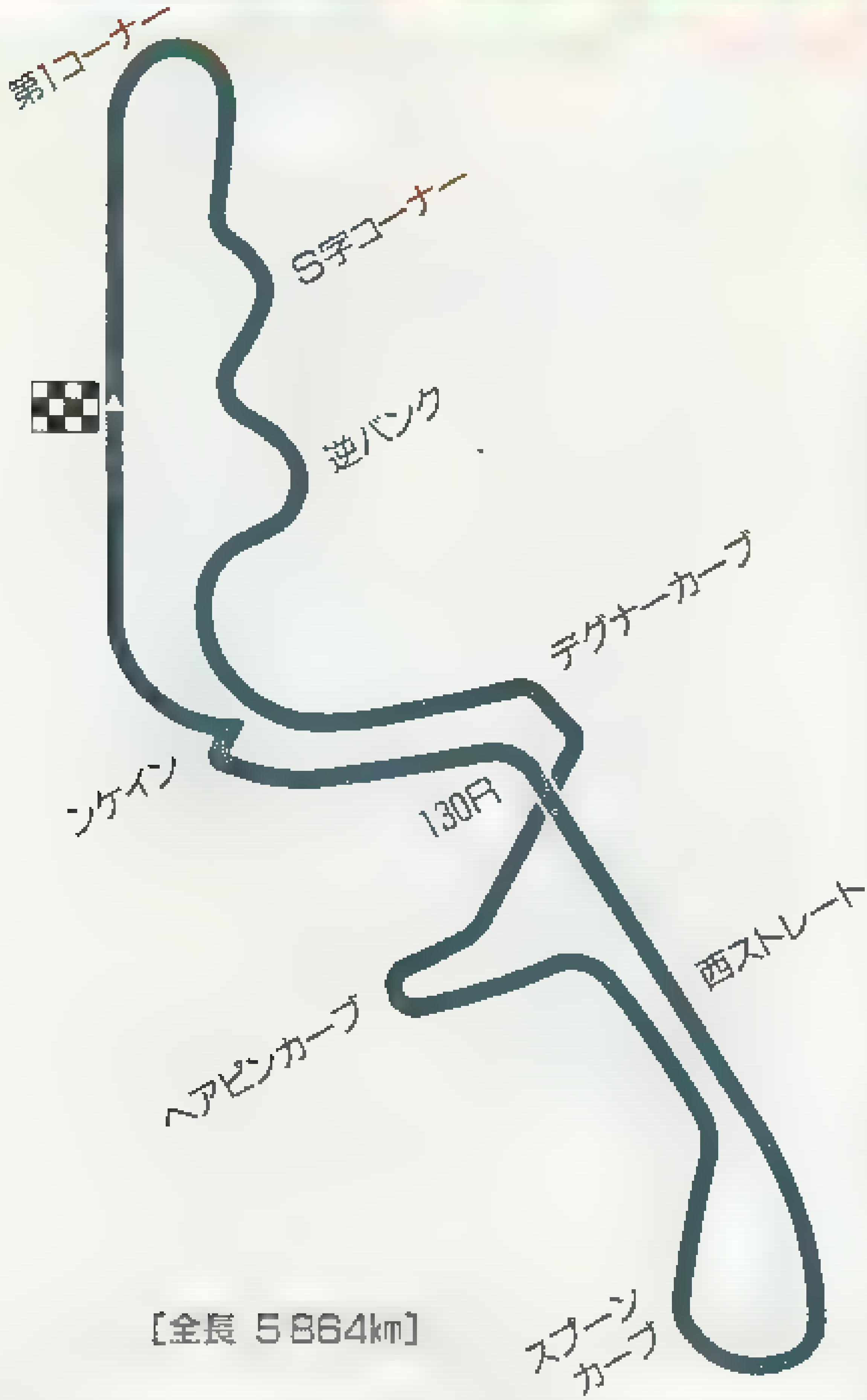
バルセロナにあるサーキットだ。15のコーナーは右が9、左が6、そしてメインストレート1047メートル。高速とテクニカルがはっきりと分かれているが、オーバーテイク(追越し)ポイントも多いスリリングなコースだ。タイトル争いにからんだチームは全力で闘いに挑む

ROUND 15

JAPAN GP

日本グランプリ





スズカ・インターナショナル・レーシング・コース

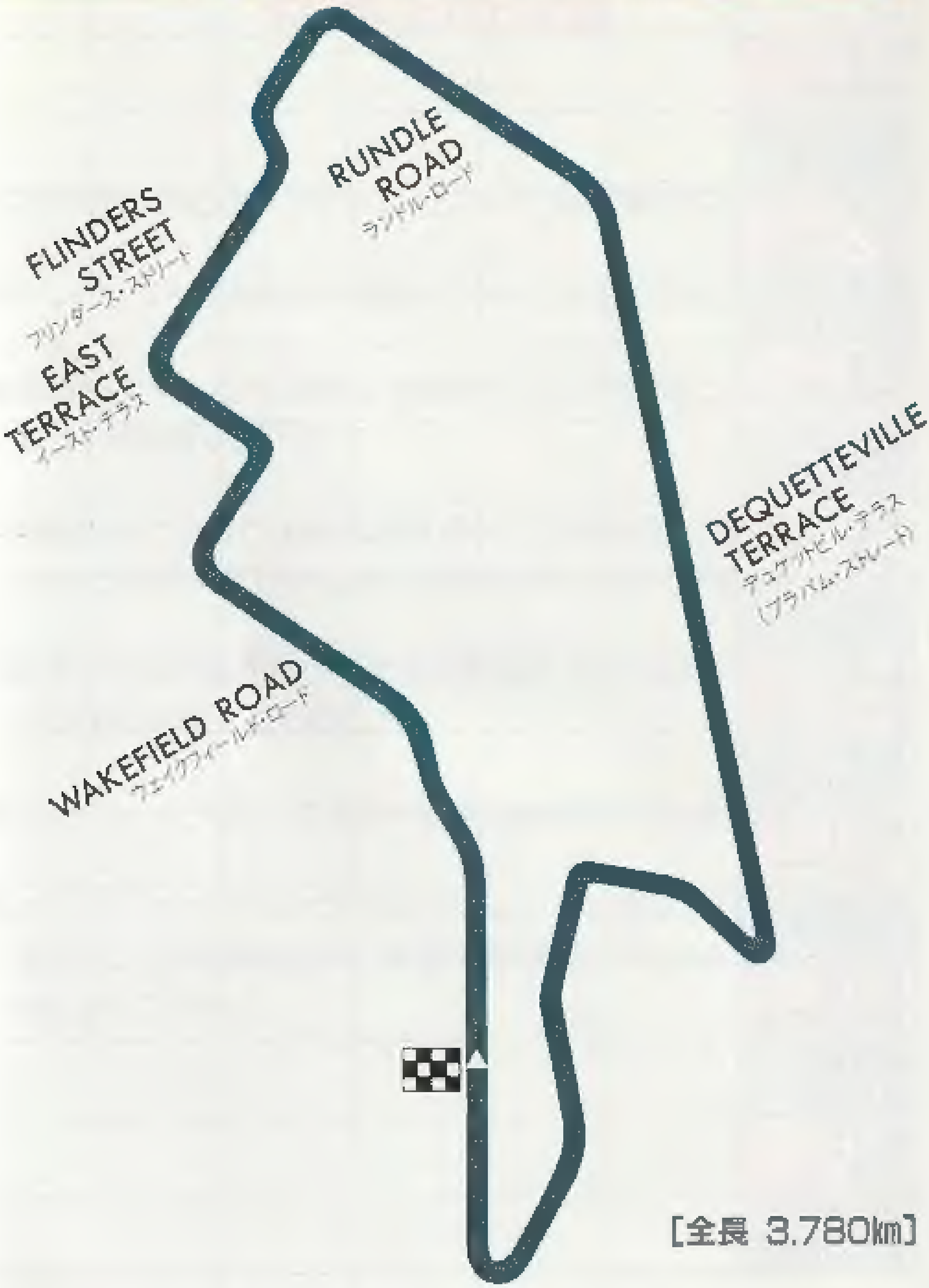
コーナーの多い高速テクニカルコースだ。第1コーナー、第2コーナー、逆バンク、デグナー、ヘアピン、スプーン、130R、シケイン、そして立体交差と、変化に富んだ難コースは、ドライバーの腕の見せどころ。過去4年連続で世界チャンプ決定の鈴鹿は、世界で最もエキサイティングなサーキットだ。

ROUND 16

AUSTRALIA GP

オーストラリアグランプリ

AUS G.P



[全長 3.780km]

アデレード・インターナショナル・レースウェイ

公道と競馬場を組合せたセミ・ストリートのコースに、アメリカ風90度ターンがからまって、アベレージスピードの高いコースだ。ブレーキングとクーリングがレースのポイントで耐久レースのムードがある。南半球のオーストラリアは夏に向かってオープンな雰囲気。

オールラウンド・プレイヤーをめざせ！

SCORE BOARD スコアボード

ドライバー名 GP						
R.1 U.S.A.						
R.2 ブラジル						
R.3 サンマリノ						
R.4 モナコ						
R.5 カナダ						
R.6 メキシコ						
R.7 フランス						
R.8 イギリス						
R.9 ドイツ						
R.10 ハンガリー						
R.11 ベルギー						
R.12 イタリア						
R.13 ポルトガル						
R.14 スペイン						
R.15 日本						
R.16 オーストラリア						
TOTAL						

ワールド・チャンピオンになるには、全16戦すべての闘いが得点により評価されます。優勝10ポイント、2位-6、3位-4、4位-3、5位-2、6位-1と各レースの合計得点で年間ランキングが決定します。

君の名前や君の選んだドライバー名を記入しよう。

使用上の注意

■ご使用後はACアダプタをコンセントから必ず抜いておいて下さい。

■テレビ画面からできるだけ離れてゲームをして下さい。

■長時間ゲームをする時は、健康のため、約2時間ごとに10分～15分の小休止をして下さい。

■精密機器ですので、極端な温度条件下での使用や、保管及び強いショックを避けて下さい。また絶対に分解しないで下さい。

■端子部に手を触れたり、水にぬらすなど、汚さないようにして下さい。故障の原因となります。

■シンナー、ベンジン、アルコール等の揮発油でふかないで下さい。

■スーパーファミコンにプロジェクションテレビ(スクリーン投影方式のテレビ)を接続すると、残像現象(画面ヤケ)が生ずるため、接続しないで下さい。

FOR SALE and USE IN JAPAN ONLY
本品の輸出、使用営業及び賃貸を禁じます。

日本音楽著作権協会(ビデオ録音)第911029号

ビデオシステム株式会社

〒606 京都市左京区下鴨松ノ木町35-1 TEL.075(723)0358㈹